

目 次

平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会開催にあたって	
会長 星野 恵美子	2
平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会プログラム	4
審議事項	
第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について	5
第2号議案 平成29年度役員及び推薦委員の選任について	39
第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について	40
第4号議案 平成30年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について	41
報告事項	
平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について	44
平成28年度 理事会報告	59
平成28年度 業務運営会議報告	61
平成28年度 施設等会員代表者会報告	63
平成28年度 地区部長会報告	64
平成28年度 職能委員会報告	65
平成28年度 助産師出向支援導入事業報告	96
平成28年度 公益社団法人日本看護協会関係報告	98
平成28年度 常任委員会及び推薦委員会報告	103
平成28年度 特別委員会報告	118
参考資料	
平成29年度 千葉県看護協会長表彰等	119
看護職員の表彰	122
平成28年度 事業の実施状況	123
要望書	184
平成28年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧	191
平成28年度 各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧	194
名誉会員	196
平成28年度 役員・委員・地区部会役員名簿	197
平成28年度 地区・職能別入会状況・入会率	208
年度別会員数	209
地区部会区分図	210
公益社団法人千葉県看護協会 組織機構図	211
公益社団法人千葉県看護協会 組織運営図	212
公益社団法人千葉県看護協会 業務体制	213
看護者の倫理綱領	214

平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会開催にあたって

会長 星野 恵美子

会員の皆様にはこの1年、協会運営に対する惜しみないご支援とご協力をいただき、有難うございました。おかげをもちまして、当初の計画に基づき各事業とも滞りなく推進することができました。

また、私も皆様のご支援のもと、千葉県看護協会長として2期目の後半、4年目を迎えることができました。心から御礼申し上げます。

さて、この3年間は、国の施策等により医療・看護を取り巻く環境も、大きく変化しました。国は、将来も社会保障制度を適切に維持していく目的のため、社会保障・税の一体改革として、平成26年6月「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」いわゆる「医療介護総合確保推進法」を制定し、また、医療・看護等に関わる法・制度の改正を行いました。

これに伴い、千葉県では「地域医療構想」を盛り込んだ「千葉県保健医療計画」の改定に着手し、昨年3月末に公表されました。平成28年度は地域医療構想調整会議が県内各地で開催され、医療関係団体として看護協会もこの仕組みつくりに参画して参りました。本年度は、医療・介護診療報酬同時改定と第7次医療計画策定の前年度でもあります。

今後の医療・看護は、高度急性期から在宅医療・介護まで切れ目なく、円滑に一連のサービスを提供するために、効率的かつ質の高い医療提供体制と、各地域において住まい・医療・介護・予防・生活支援が身近な地域で包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築によって展開されることになります。

千葉県は、地域・医療圏域により人口動態をはじめ、医療資源等々の背景に特徴があり、必ずしも容易ではないなど課題も多くあります。昨年度も、地域での研修や事業等を実施してきましたが、今年度はさらに地域のニーズを検討し積極的な取組みを計画し推進して参ります。

当協会は、こうした状況の中、平成28年度に策定した「第4次看護職定着・確保推進計画」の施策の柱である3つ(1)看護職が働き続けられる環境づくりへの支援、(2)質の高い医療・看護の提供、(3)看護職の確保対策の推進の取組みとその評価をしつつ、事業を「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」のスローガンの基に、次の6つを平成28年度に引き続き重点項目・重点事業として掲げ、地域特性も視野に平成29年度は、更に深化・推進するように取組んでまいります。

- ① 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
- ② 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- ③ 地域包括ケアシステムの構築の推進
- ④ 少子超高齢社会（2025年）を見据えた看護職の育成・確保
- ⑤ 保健師のキャリア形成と統括的役割を担う保健師の配置の推進
- ⑥ 妊娠・分娩・育児における安全・安心な助産ケアの確保

この一年間の事業の取組の報告としては、協会の設置目的・役割である「看護職の資質の向上を図り、看護職が医療の担い手として誇りを持ち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献します」を基本として、定款に定める7つの事業に取組んだ結果の詳細と平成29年度事業計画について、報告させていただきます。

さて、当協会は、平成24年4月1日に「公益社団法人千葉県看護協会」として新たな一步を踏み出して以来、一つの節目の5年が経過しました。今年度は、さらに飛躍の年であることを胸に刻み、公益目的に沿ったより一層の事業推進に取組み、広く社会に貢献できるよう役職員一同、心を一つに努力して参ります。

今年度も会員の皆様の更なるご協力とご支援の後押しをどうぞよろしくお願ひいたします。

平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会 プロ グ ラ ム

日 時 平成29年6月20日（火）

9：30～16：00

場 所 ホテルポートプラザちは

9：00 受付

9：20 オリエンテーション

9：30 開会

会長挨拶

公益社団法人千葉県看護協会長表彰

公益社団法人千葉県看護協会長表彰受賞者謝辞

各受賞者紹介

叙勲

千葉県看護功労者知事表彰

日本看護協会長表彰

来賓祝辞・祝電披露

10：10 議長団・議事録署名人選出

10：20 審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

第2号議案 平成29年度役員及び推薦委員の選任について

第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について

第4号議案 平成30年度公益社団法人日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員の選任について

11：20 選挙 平成29年度 改選役員及び推薦委員 の選出について

11：50 — 休憩（昼食） —

12：40 報告事項 ・平成29年度千葉県看護協会事業計画・予算等について

・平成28年度 理事会、職能委員会、常任委員会等報告

14：00 平成29年度改選にかかる役員・推薦委員の選挙結果報告及び承認

14：15 新旧役員・委員の紹介（旧役員等挨拶）

14：30 講演 「共に未来へ～ALSを生きる～」

講師 医師 太田 守武 氏

16：00 総会閉会

第1号議案 公益社団法人千葉県看護協会 平成28年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

平成28年度事業報告

項目	実施計画 (新規事業: 太ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略)					
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	1.生涯教育 (1)生涯教育 (53コース) ①資格修得教育 10コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者制度教育課程 認定看護管理者制度教育課程 ファーストレベル 認定看護管理者制度教育課程 セカンドレベル ・実習指導者講習会 (40日コース) ・保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野) ・喀痰吸引等指導者養成講習会 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング BLSコース(一次救命処置) ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング ACLSコース (二次救命処置) ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング PEARSコース (小児救命処置) ・訪問看護師養成講習会 ②ステップアップ研修 23コース ・段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修、2年目、管理者等) ・領域別ステップアップ研修 (認知症初心者・中堅者・指導者研修、糖尿病、災害等)	(1)生涯教育 (53コース) ①資格修得教育 ・医療安全管理者養成研修 10コース 16回 143日 712名 ・認定看護管理者制度教育課程 1コース 1回 7日 109名 ・認定看護管理者制度教育課程 ファーストレベル教育課程 (6/10~7/26 10/4) セカンドレベル教育課程 (9/3~11/22 2/3) 1コース 1回 29日 86名 ・実習指導者講習会 (40日間コース) (10/6~12/9) 1コース 1回 39日 33名 ・実習指導者講習会 (特定分野7日間コース) (9/7~28) 1コース 1回 44日 66名 ・実習指導者講習会 (特定分野7日間コース) (9/7~28) 1コース 1回 7日 24名 ・喀痰吸引等指導者養成講習会 1コース 1回 2日 46名 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング BLSコース (一次救命処置) 1コース 4回 1日 230名 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング ACLSコース (二次救命処置) 1コース 3回 2日 37名 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング PEARSコース (小児救命処置) 1コース 2回 1日 51名 ・訪問看護師養成講習会 1コース 1回 3日 30名 ②ステップアップ研修 23コース 58回 113日 4,169名 ・段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修、2年目、管理者、実地指導者研修等) 12コース 46回 82日 3,110名 ・領域別ステップアップ研修 (認知症初心者・中堅者・指導者研修、糖尿病、災害等) 11コース 12回 31日 1,059名 認知症初心者研修 (認知症ケア加算2) 対象研修 1コース 2回 6日 278名 (受講率115.8%) (再掲) ③看護実践コース 20コース 27回 48日 2,527名 ・地域包括ケアを進めるための看護活動 20コース 1回 3日 120名 ・エンド・オブ・ライフ・ケア (ELNEC-J) 研修 等 1コース 2回 4日 114名 ・在宅・介護施設等における感染管理 (再掲) 1コース 1回 1日 60名 ・助産師実践能力強化支援研修 ~CLoCMPIに活用できる必須研修その1・その2、ステップアップ研修～ (再掲) 3コース 3回 3日 108名 ・「認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (インターネット配信研修)」 (認知症ケア加算2) 対象研修 1コース 2日 292名 (再掲)	7,408名	712名	109名	86名	33名
	③看護実践コース 20コース ・地域包括ケアを進めるための看護活動 ・エンド・オブ・ライフ・ケア (ELNEC-J) 研修 等 ・在宅・介護施設等における感染管理 ・助産師実践能力強化支援研修 ～CLoCMPIに活用できる必須研修 その1・その2、ステップアップ研修～	千葉県委託事業 (再掲) ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤実習指導者講習会 (40日コース) ⑥保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野) ⑦喀痰吸引等指導者養成講習会	20コース 27回 48日 2,527名	120名	114名	60名	108名
	2.千葉県看護研究学会 (1)第35回千葉県看護研究学会 日時 平成29年2月24日 (金)	(1)第35回千葉県看護研究学会 日 時：平成29年2月24日 (金) 場 所：アバホテル＆リゾート <東京ベイ幕張ホール> テ マ：「想いをかたちに 看護で未来につなげる」 内 容：特別講演 「いつまでも輝く看護職を目指して」～キャリアデザインして未知の自分と出会う～ 講師 NPO法人看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子氏 ミニレクチャー 「看護実践を伝えたい～看護研究を実践に活かすには～」 順天堂大学医療看護学部 先任准教授 島田 広美氏 一般演題 48演題 看護研究支援 (相談支援・文献検索) 参加者：442名 (一般参加397名、関係者等45名)	48日	2,527名	120名	114名	60名
	3.図書室の管理運営 (1)図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 購入図書 51冊、寄贈図書 70冊、購入雑誌 31冊、寄贈雑誌 9誌 ホームページからの情報提供 関係機関からの情報をホームページに掲載、図書室専用ページアクセス件数 3,927件	51冊	70冊	31冊	9誌	3,927件
	(2)資料・文献検索・レファレンス	(2)資料・文献検索・レファレンス 図書室利用 312件、文献検索等相談件数 121件、郵送文献複写申込件数、3件、 図書室内複写申込件数 253件、医中誌Webログイン回数 269回	312件	121件	3件	253件	269回
	4.委員会の開催 (1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②第35回千葉県看護研究学会実行委員会 年8回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 6回 (7/21、8/18、11/16、12/1、1/19) ②第35回千葉県看護研究学会実行委員会 5回 (8/1、9/12、11/16、29/1/29、3/23) ③認定看護管理者教育課程運営委員会 3回 (7/7、9/1、29/1/6)	6回	5回	3回	6回	5回

項目	実施計画 (新規事業：太ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	<p>1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 (1)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の普及・推進 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) 　①「看護ちば」、ホームページ等による広報 　②各種協会事業を通した普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 　①WLB推進会議の開催 年5回 　②WLBワークショップ 　　・事前研修会の開催 　　・WLBワークショップの開催 新規3施設 既取組み施設8施設 　　・WLBフォローアップワークショップの開催 (3)取組み3年目評価会議の開催 (4)WLB推進の普及啓発及び就労環境改善のための研修会開催 　就労環境改善のための研修会開催 (5)相談窓口開設 (6)アドバイザー派遣 ②(2)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県) 　看護管理アドバイザー 60日</p> <p>3. 看護進路相談事業 (1)出前授業 (いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業</p> <p>4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会</p> <p>5. ナースセンター事業(千葉県委託) (1)看護職の定着確保に係る実態調査 　・第4次千葉県看護職定着・確保推進計画に基づき調査・内容等の見直し 　①看護職の定着確保動向調査 　②看護職の再就業者実態調査 　(2)看護職の無料職業紹介 　(3)届出制度 　①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理 　②ナースセンターへの登録の働きかけ 　③届出者に対する就業支援 (4)未就業看護職の就業支援 　①ハローワークにおける就業相談 　(千葉2回/月 松戸2回/月 木更津1回/月 成田1回/月 船橋1回/月) 　②看護基礎技術講習会 (4回/月程度開催) 　③訪問看護基礎研修会 　　・半日コース 年5回 (地域別) 　　・1日コース 年3回 (看護会館) 　・研修会受講後の再就業支援 (再掲)</p>	<p>(1)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の普及・推進 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (12/14) (委員8名、事務局9名出席) (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) 　①「看護ちば」、ホームページ等による広報 　②各種協会事業を通した普及 (5)労働環境改善委員会の開催 6回 (7/19 10/7 11/10 12/15 平成29年1/19 2/16)</p> <p>(1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進会議の開催 年5回 (第1回9/29、第2回10/14、第3回11/11、第4回12/9、第5回1/27) ②WLBワークショップの開催 　・事前研修会の開催 (7/29、参加施設3、参加人数16名) 　・WLBワークショップの開催 新規3施設 (千葉県済生会習志野病院、成田赤十字病院、国保大網病院) 　　日時：10/13、14 内容：講義、アクションプランの作成 参加人数：10/13: 33名、10/14: 31名 　・WLBフォローアップワークショップの開催1/27 内容：新規3施設の報告、2年目6施設の1年間の報告 参加人数：33名 傍聴者：44名 ③取組み3年目評価会議の開催 (12/9) 内容：3年目施設評価発表、情報交換等 1~3年目参加施設：11、参加人数：47名 ④WLB推進の普及啓発及び就労環境改善のための研修会開催 (再掲) 　ワーク・ライフ・バランス推進ポスターの配布 (取組み23施設へ配布) ⑤相談窓口開設 (毎週火曜日) 取組み施設等との電話 23施設 40件 ⑥アドバイザー派遣 (取組み施設への訪問 11施設 17回) (2)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県) 　訪問支援：17施設 23回・電話相談：26施設 61件 ((1)ワーク・ライフ・バランスの推進⑤相談窓口の開設⑥アドバイザー派遣を含む)</p> <p>(1)出前授業 (いのちの大切さ教育) 14回 (中学校10校 高等学校4校 参加者1950名 内容：こころとからだの話 看護の仕事について) (2)ふれあい看護体験事業 　受け入れ施設101施設 実施施設77施設 1240名 (小学生9名・中学生43名・高校生1184名・社会人4名) (3)進路相談事業 　進路相談 48件 (面接7・電話40 (郵送・FAX含む)・メール1) (高校生2名・一般32名・保護者8名・その他6名)</p> <p>中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 日時：平成29年2月10日(金) 13時30分～16時 場所：農村環境改善センター (睦沢町) 内容：(1) 講演 テーマ 組織の中で看護職が果たす役割～看護に関係する診療報酬を正しく理解する～ 　講 師 関東甲信越厚生局保健指導看護師 就業相談推進アドバイザー 四宮一二三 (2) 情報交換会 「看護職の確保・定着」について 　情報交換アドバイザー 医療法人芙蓉会 五井病院 看護部長 牧田京子 参加者：長夷地区中小病院看護管理者 10名</p> <p>(1)看護職の定着確保に係る実態調査 ・第4次千葉県看護職定着・確保推進計画に基づき調査・内容等の見直し ①看護職の定着確保動向調査 　対 象：①看護管理者 286施設 (回答数180施設・回答率62.9%) 　②未就業求職者 241名 (回答数83名・回答率34.4%) 　③フレッシュセミナー受講者 1,195名 (回答数1,158名・回答率96.9%) 調査時期：①看護管理者者 平成28年8月25日～9月8日 　②未就業求職者 平成28年9月1日～9月15日 　③フレッシュセミナー受講者 平成28年10月5、6、7、11、12、13、14、17、18、19日 調査結果：・離職率 常勤看護職員 11.6% 新卒看護職員 7.5% 　・離職理由 第1位：人間関係 第2位：結婚 第3位：転居 ②看護職の再就業者実態調査 102名 (回答数56名・回答率54.9%) 　対 象：平成27年度千葉県ナースセンター登録の再就業者のうち千葉県在住、かつ臨時雇用にて就業した者を除く 　調査時期：平成28年9月1日～9月20日 　調査結果：・就職時の就業状況：未就業(66.1%)、就業(転職) (28.6%) 　・未就業者 (病院30.8%、その他23.1%)、就業(転職) (訪問看護ステーション30.0%、企業20.0%、その他20.0%) (2)看護職の無料職業紹介 　e ナースセンター利用者数： 4,481名 　新規求人件数： 1,437名 　新規受付登録者数： 1,040名 　紹介者数： 354名 (延べ人数467名) 　就職者数： 269名 (3)届出制度 　①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用して、離職届の受理 　届出者数：1095名 (仮登録者も含む) : 就業意志があると思われる者534名 (49.0%)、代行届出536名 (49.2%) 　②ナースセンターへの登録の働きかけ(下記(5)の広報のとおり) 　③届出者に対する就業支援 (電話、メール、面接等) (4)未就業看護職の就業支援 (就業相談推進アドバイザーによる就業支援) 　①ハローワークにおける就業相談 (千葉2回/月 松戸2回/月 木更津1回/月 成田1回/月 船橋1回/月) 　相談者：千葉58名 松戸42名 木更津16名 成田18名 船橋38名 計172名 　就業者数19名 (11.0% はがきによる9月末までの確認) 　②看護基礎技術講習会 (4回/月程度開催) 　受講者71名 就業者39名 (54.9%)、平均年齢40.5歳 　③訪問看護基礎研修会 　・半日コース 年5回 (地域別) (船橋6/18/11名・市原7/5/4名・佐倉9/10/9名・市川10/27/3名・流山11/19/4名) 　・1日コース 年3回 (看護会館) (7/12/19名・10/18/18名・2/7/22名) 　・訪問看護師再就職支援事業 (再掲)</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	<p>④合同就職説明会の開催</p> <p>⑤看護職への求人情報の提供</p> <p>⑥サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置（再掲） ・合同就職説明会の開催（再掲） ・再就業支援セミナーの開催 2回/年程度 (1回はナースセンター、1回は地区にて開催)</p> <p>(5) ナースセンター事業の広報</p> <p>(6) ナースセンター運営委員会の開催 年1回</p> <p>(7) 関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等)</p> <p>(8) 看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(9) ナースセンターの維持管理</p> <p>5. 医療・看護における安全対策 (1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介</p> <p>(2) 医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時 平成28年11月13日（日） ・場 所 幕張メッセ国際会議場</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発</p>	<p>④合同就職説明会の開催：総計 参加施設55、求職者42、就業者5 (11.9%) 東葛地区8/26(参加施設20施設 求職者7名 就業者1名) 安房地区10/20(参加施設5施設 求職者1名 就業者0名) 利根地区11/18 (参加施設 6 施設 求職者 4 名 就業者 0 名) 長夷地区11/24 (参加施設 7 施設 求職者 6 名 就業者 2 名) 山武地区2/23 (参加施設10施設 求職者8名 就業者1名) 船橋市主催12/15 (参加施設 7 施設 求職者 16 名 就業者1名)</p> <p>⑤看護職への求人情報の提供 ア 看護職への求人情報の提供 (年4回発行) 提供日：第1回(6/14) 第2回 (8/31) 第3回(12/1) 第4回 (3/1) 提供数：各400部 配付先：未就業求職者、ハローワーク等関係機関、ナースセンター来所者等 イ 就業相談推進アドバイザーによる求人施設訪問 看護管理者により求人情報の収集 37施設</p> <p>⑥サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置（再掲） ・合同就職説明会の開催（再掲） ・再就業支援セミナーの開催 ハローワーク松戸にて7/27開催 参加者3名 就業者数1名 ナースセンターにて3/7開催 参加者3名 就業者1名</p> <p>(5) ナースセンター事業の広報 ・協会機関誌、協会ホームページ等 ・離職看護師等の届出制度に係る広報チラシ「届出物語」配布：千葉県医師会広報誌に同封 (4月末発行分) ・「ハローワーク出張相談会」「訪問看護基礎研修会」の開催について開催市及び近隣市町への広報誌の掲載依頼 県医療整備課看護師確保推進室より発信 ・「看護師等免許保持者の届出制度」について千葉県PTA連絡協議会を通じ県内小中学校に子を通学させる保護者宛 県医療整備課看護師確保推進室より発信</p> <p>(6) ナースセンター運営委員会の開催 年1回(10/31) (委員9名、事務局7名出席)</p> <p>(7) 関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) ①都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会 (5/31) ②ナースセンター事業担当者会議 年1回 (8/25) ③都道府県ナースセンター相談員研修 年1回 (8/26) ④ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 年2回 (6/1) (12/12) ⑤千葉公共職業安定所主催「福祉人材就職面接会」参加 (11/15) ⑥成田公共職業安定所主催「介護デーin成田」参加 (11/17) ⑦松戸公共職業安定所主催「介護の日 合同就職説明会」参加 (11/25) ⑧千葉県福祉人材センター主催 福祉のしごと就職フェア・inちば 1回 (7/17)、(2回目 11/12 予定)</p> <p>(8) 看護進路相談事業(再掲)</p> <p>(9) ナースセンターの維持管理</p> <p>(1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・相談件数4件(相談内容:医療費以外のグリセリン浣腸の実施、医療事故が起きた際の届出先や料金、死亡後の死因究明解剖の依頼方法等) ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介 医療事故調査に関する外部委員派遣 2件 日本看護協会への支援者再登録 ・顧問弁護士による看護ちばへの情報提供(4月号 (内容:胃がんの健診時の説明と問診)、7月号 (内容:くも膜下出血の術後5日目の窒息事故)、10月号 (内容:医療事故調査制度について)、1月号 (内容:薬剤の誤投与と准看護師の責任) ・ホームページにて医療事故調査に関する外部研修案内 {会館内及びホームページへの掲示}</p> <p>(2) 医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時：平成28年11月13日（日）10：30～16：15 ・場 所：幕張メッセ国際会議場 ・テマ：多職種連携で前進する医療安全～多職種連携の成功の鍵とは～ ・内 容：医療安全に関する標語の表彰式 優秀賞1作品、佳作4作品 特別講演「医療訴訟の観点から見た安全対策課題～個人から、多職種チームにそして組織で～」 講師：稻葉 一人（中京大学法科大学院 教授） パネルディスカッション「多職種連携の成功の鍵とは～各職種の医療者個人及び組織全体の視点から～」 パネリスト：北村 享之（東邦大学医学部附属病院 麻酔科教授） 小西 寿子（東京女子医科大学病院 薬剤部 主任） 三浦 國男（玄々堂君津病院 透析統括顧問：臨床工学技士） 高木 弘枝（千葉労災病院 皮膚・排泄ケア認定看護師） 小林 美智子（日本メディエーター協会 首都圏支部理事） 座 長：稻葉 一人（中京大学法科大学院 教授） 小賀坂 好子（千葉県看護協会 医療安全委員会委員長、帝京大学ちば総合医療センター 副院長補佐・看護部長） 医療安全対策関連企業の展示・体験コーナー テマ：最新の医療資機材展示紹介 (17社) ・参加者：746名(看護職501名、他職種129名、関係者116名)</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 応募総数：925作品 (看護職720作品、他職種205作品) 優秀賞：「安全は、部門を越えた対話から」 聖隸佐倉市民病院 石川 英男 佳 作：「チーム医療、心をひとつに、安全確保」 東京ベイ・浦安市川医療センター 看護部 「安全の 意識高める 組織力」 みつわ台総合病院 総務課 「声掛けで、つながる心と医療安全」 新松戸中央総合病院 医療福祉相談室 「はっとする あなたの気付き 宝物」 船橋市立医療センター 石井 雅美 ・ポスター等による普及啓発 優秀標語と優秀賞受賞者の施設職員の写真を組み合わせたポスター4500枚を作成し、県内病院及び会員施設等へ配布</p>
		— 7 —

項目	実施計画 (新規事業 : 太ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による	(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 ③医療安全地区交流会 (君津・安房地区)	(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者中央交流会 ・日 時：平成29年2月4日（土）10：00～16：00 ・場 所：千葉県看護会館 大研修室 ・内 容：講演「正しく行った医療行為・看護行為を正確に記録に留める」 講 師：学校法人植草学園 植草学園大学 事務局長 磯野 敏和 グループワーク「医療安全担当者として活動している上の悩み、課題」 ・参加者：87名（参加者75名、関係者12名） ③医療安全担当者地区交流会 (君津・安房地区) 【安房地区】日 時：平成28年11月5日（土）13：30～16：00 場 所：亀田医療大学 本館4階 第3講義室 【君津地区】日 時：平成28年11月18日（金）13：30～16：00 場 所：君津中央病院 4階講堂 ・内 容：医療安全の推進におけるチームステップス研修を体験してみよう 講 師：鈴木 真（亀田総合病院 産婦人科部長、総合周産期母子医療センター長、チームステップス推進委員会委員長） ・参加者：安房地区 32名（一般参加者19名：看護職13名・他職種6名、関係者：13名） 君津地区 65名（一般参加者54名：看護職29名・他職種25名、関係者：11名） (4)関係機関等との連携促進 ①平成28年度医療事故調査制度に関する専門家連絡会議（10/4）日本看護協会主催 ②医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」（12/7・2/23）日本医師会主催 ③千葉県医療安全に係る研修会（1/24）千葉県健康福祉部医療整備課主催 (5)医療安全委員会の開催 年6回 ⑤医療安全委員会の開催 6回（7/12、9/13、10/11、12/13、1/10、2/14）
	1.訪問看護推進事業 (千葉県委託) (1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携フォーラム(長庚地区) (印旛地区)	(1)訪問看護推進協議会の開催 年1回 日時：平成29年1月17日（火）16：00～17：30 内容：①平成28年度事業進捗状況について②平成29年度事業計画(案)について(協会単独事業)③今後の訪問看護推進の方向性について (2)訪問看護に関する総合相談の実施 相談日：月～金 9時～17時 相談件数：108件（訪問看護師32%・県民20%・ケアマネ14%・リハ9%） 主な相談内容：訪問看護サービス等に関すること (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム ・看看連携フォーラム(長庚地区) 日 時：1月14日（土） 場所：睦沢町農村環境改善センター 内 容：テーマ「一緒に患者さんの退院後の生活を考えませんか」講義・グループディスカッション 「長生病院における退院支援の現状」公立長生病院 副看護部長 江澤 京子 「訪問看護の役割について」やすらぎの郷訪問看護ステーション 所長 岡嶋 恵子 「退院後も患者さんが安心して生活するために、私達にできること」グループディスカッション 対象者：長庚保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤看護職 参加者：26名（講師2名・ファシリテーター4名・事務局等2名含む） ・看看ケアマネ連携フォーラム(印旛地区) 日 時：10月22日（土） 場所：成田赤十字病院 内 容：テーマ「一緒に利用者さんの生活を考えませんか」グループディスカッション 対象者：印旛保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤看護職、介護支援専門員 参加者：67名（ファシリテーター6名・事務局等3名含む） (2)訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの作成（平成28年診療報酬改定版） ・普及活動 (4)訪問看護師指導者育成研修会（3地区） (5)訪問看護師再就職支援事業 ①訪問看護基礎研修会（再掲） ②訪問看護ステーション見学体験 ③訪問看護就職フェア
		(4)訪問看護師指導者育成研修会（3地区） 内容：訪問看護ステーションの経営管理と人材育成に関する研修会 講師：千葉大学大学院看護学研究科 教授 吉本照子 準教授 辻村真由子 さつき台訪問看護ステーション所長 相原鶴代 訪問看護ステーションひとみ所長 小宮山日登美 さつき台訪問看護ステーション副所長 中原桜子 前原ハート訪問看護ステーション管理者 廣田桂子 日時場所：①8月21日（日）サンプラザ市原 参加者：20名 ②12月18日（日）看護会館 参加者：25名 ③3月19日（日）聖徳大学 参加者：16名 (5)訪問看護師再就職支援事業 ①訪問看護基礎研修会（再掲） ②訪問看護ステーション見学体験 見学申込者数：25名 見学終了者：22名（7/12セコム市川・7/20ヒューマンケア・7/29まくはり・8/8茂原市医師会・8/10あおぞら・8/18北総白井・9/26セントマーガレット・9/27なごみの陽②・10/5東庄町・10/13生活クラブ風の村さくら・10/14まくはり・10/20ふたわ・1/25厚生園・2/20千葉メディカルセンター・2/23さかえ・2/24看護協会ちはば・2/24カンナ・2/24看護協会ちはば・2/28ゆい・3/7すまいる・3/8まくはり） 就業者 4名（18.2%） ③訪問看護就職フェア 日 時：12月3日（土） 場所：看護会館 内 容：テーマ「訪問看護の世界をあなたに～喜びも悲しみも全部伝えます！」 ・講演「新人訪問看護師物語」 しば訪問看護ステーション 赤羽 創（新卒） 惠泉マリア訪問看護ステーション 片桐 糸珠（潜在） 「訪問看護の魅力を伝えます」 まくはり訪問看護ステーション所長 訪問看護認定看護師 佐藤 富子 ・各訪問看護ステーションPRと個別就職相談 ・技術体験、総合相談、訪問看護力フェア 対象者：潜在看護師、看護学生、県内外（近隣県）看護系大学及び県内看護師等学校・養成所の教員 参加者：102名（関係者含む）

項目	実施計画 (新規事業：太ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
③ 訪問看護の推進に関する事業	<p>2. 訪問看護推進事業 (協会単独事業)</p> <p>(1) 訪問看護師人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新卒訪問看護師 (1年目 2名、2年目 1名) ・潜在訪問看護師 (5名) ② 訪問看護師養成講習会 <ul style="list-style-type: none"> 「訪問看護研修ステップ1」の開催 (再掲) <p>(2) 訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・看護の質評価システム、経営診断システムの普及 <p>3. 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2) 医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携 	<p>(1) 訪問看護師人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新卒者 (1年目 3名 : 2年目 1名) ・チャレンジ看護師 (潜在) 3名 ・支援者累計 (H24~) 新卒者: 9名 チャレンジ看護師: 18名 ・振り返りカンファレンス 53回 ・学習支援者会議 38回 ・事例検討会 5回 ・評価面接 14回 ・技術演習 7回 ② 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・7/24千葉大学看護部連絡ガイドス、9/17松戸市訪問看護連絡協議会での「新卒者等訪問看護師育成プログラム」の説明 <p>12/11学会発表 第36回日本看護科学学会学術集会 交流会「行政・実践者・大学の連携による訪問看護師の質的・量的確保のしくみづくり: 千葉・鳥取・高知県の事例会から」</p> <p>③ 訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 (再掲)</p> <p>(2) 訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・ソフト使用事業所: 15か所 ・看護の質評価システム、経営診断システムの普及 ・訪問看護師指導者育成研修会時に受講者に説明 <p>(1) 日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月18日 2月24日 訪問看護連絡協議会 全国会議 (日本看護協会) ・11月26日 平成28年度訪問看護ハイレベル研修会 (全国訪問看護事業協会) ・11月27日 訪問看護サミット (日本訪問看護財団) <p>(2) 医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護協会・千葉県訪問看護ステーション連絡協議会合同会議 (第1回) 日時: 7月22日 (金) 内容: ①訪問看護師確保定着について ②訪問看護サービスの普及について ・看護協会・千葉県訪問看護ステーション連絡協議会合同会議 (第2回) 日時: 2月25日 (土) 内容: ①訪問看護師の確保について (訪問看護基礎研修会・人材確保に関する意見交換) ②看看連携・看看ケアマネ連携フォーラムについて
④ 県民健康・福祉の増進に関する事業	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>(1) 第26回県民が集う「看護の日」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地区部会行事 平成28年5月14日 (土) 【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護 <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 12地区部会の決定会場 ・内 容 地区独自の事業 (測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ② 看護体験記表彰 ③ 実行委員会の開催 (2回) <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>(1) 常設型の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 開催場所 12地区部会の決定会場 ・血管年齢の測定 <p>(2) イベント型の積極的な開催</p> <p>3. 自殺予防対策</p> <p>(1) 心の総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 専用電話・専用メールによる相談対応 ② 自殺予防に関する広報 <p>(2) 人材育成研修の開催 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう」(再掲) ② 「看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲) <p>4. 千葉県小児救急電話相談事業</p> <p>(1) 相談員の登録・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談時間 19:00~6:00 ・相談体制 19:00~22:00 3名 22:00~6:00 2名 <p>(2) 相談員の勤務調整 (24名)</p> <p>(3) 相談員研修会の開催</p> <p>(4) 小児救急電話相談事業協議会への出席</p>	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>(1) 第26回県民が集う「看護の日」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地区部会行事 平成28年5月14日 (土) 【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護 <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 12地区部会の決定会場 ・内 容 地区独自の事業 (測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ・参加人数 延べ7,265名 ② 看護体験記表彰 平成28年7月20日 (水) 平成28年度第1回施設等会員代表会に於いて表彰 ③ 実行委員会の開催 (2回) 1回目: 7月26日 2回目: 平成29年1月24日 <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>(1) 常設型の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区部会: 12地区部会 開催回数: 69回 参加人数: 延べ5,551名 <ul style="list-style-type: none"> ・血管年齢の測定: 千葉(7/10)、君津(10/15)、安房(10/29)、山武(11/5)、利根(11/19)、市川(1/21) *イベント型含む ・骨密度測定: 千葉(7/10)、東葛(7/9, 9/10, 11/12, 1/14, 3/4)、印旛(7/10, 9/11, 11/13, 1/8) *イベント型含む (2) イベント型の積極的な開催 <p>地区部会: 11地区部会 開催回数: 15回 参加人数: 延べ6,115名</p> <p>(1) 心の総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 専用電話・専用メールによる相談対応 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数: 477件 (電話381件、メール95件、面接1件) ・相談者数: 417名 (県民382名、看護職27名、その他の医療職0名、学生等8名) ・主な相談内容: メンタルヘルス関連447件 (身体健康問題171件、家族関係133件、人間関係107件、検査・治療関係93件、済問題44件、施設・労働条件42件、その他115件) ・相談員研修: 「職場のメンタルヘルスへ予防から復職支援まで~」、「多重債務者の現状と問題点」、「労働者の現状と問題点」、「自殺リスクのアセスメントと支援について」、『電話相談に関する情報交換会』 ② 自殺予防に関する広報 <ul style="list-style-type: none"> ・職場のストレスチェック制度の情報案内や研修案内 <p>(2) 人材育成研修の開催 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう」(再掲) ② 「看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲) <p>(1) 相談員の登録・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談時間 19:00~6:00 ・相談体制 19:00~22:00 3名 22:00~6:00 2名 ・相談件数 31,311件--一日の相談件数85.8件 (準夜帯53.1件、深夜帯32.7件) H27年度実績54.5件/日 <p>(2) 相談員の勤務調整 (24名) 2か月毎に勤務表作成 (4, 6, 8, 10, 12, 2月)</p> <p>(3) 相談員研修会の開催 3回 (4/18, 10/30, 2/11)</p> <p>(4) 小児救急電話相談事業協議会への出席 1回 (10/4)</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>5. 関係機関・他団体への協力</p> <p>(1) 研修会等への講師紹介や派遣</p> <p>(2) 行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p> <p>6. 災害支援対策事業</p> <p>(1) 災害支援ネットワークの強化</p> <p>①千葉県看護協会災害対策本部の設置</p> <p>②災害時における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 <p>③平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 <p>(2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理</p> <p>③災害救護対応マニュアルの見直し</p> <p>④災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>⑤災害時必要物品の管理</p> <p>(3) 災害支援ナースの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「災害支援ナースの基礎知識～災害看護の第一歩～」(再掲) ②「災害医療と看護（実践編）」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会（旧災害支援ナースフォローアップ研修） 	<p>(1) 研修会等への講師紹介や派遣</p> <p>千葉県生涯大学校への講師派遣 4回 (7/25, 7/30, 8/15, 8/28)</p> <p>(2) 行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のふれあいフェスティバル (5/11) ・がん予防展：中央 (9/3, 4)、地区 (2/11) ・千葉県千葉市精神障害者ソフトバレー・ボール大会 (9/28) ・健康しば推進県民大会 (11/23) ・心の健康フェア2016inちば (11/2) ・地域移行支援（退院促進）セミナー (1/21) <p>(1) 災害支援ネットワークの強化</p> <p>①千葉県看護協会災害対策本部の設置</p> <p>②災害時における関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 <p>③平常時における連携</p> <p>ア 県内施設、日本看護協会との合同防災訓練</p> <p>11月29日(火)～12月1日(木)日本看護協会等合同防災訓練(災害支援ナース派遣調整) 参加施設：災害支援ナース所属施設73施設、派遣候補者91名、派遣決定者20名 協会内にて災害対策本部設置訓練（協会内全部門参加）</p> <p>イ 九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練 8月27日(土)茂原市富士見公園 県内災害支援ナース8名参加(内、長夷地区3名) ・九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練 9月10日(日)主会場：船橋浜川崎 千葉地区部会看護職2名は船毛区の穴川コミュニティにて避難所開設・運営訓練に参加 ・船橋市総合防災訓練 8月28日(日)船橋市消防指令センター及び市内菜園台南・塚田・南本町・古和釜・八栄小学校 船橋地区部会看護職28名参加 <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会主催「平成28年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席(9/30) ・「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会」幹事会への出席(9/13、12/13、3/14) ・「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の熊本地震に対する被災地支援チーム活動報告会」への出席(6/14) ・「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会」研修会への出席(1/14) <p>(2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <p>①災害支援ナースの登録促進</p> <p>3月3日「災害医療と看護（実践編）」研修時に登録を推奨</p> <p>②災害支援ナースの登録・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース登録者 241名 (3月末現在) ・「災害支援ナース登録」実施要領、事務処理要領の改正 6月1日付 ・災害支援ナースの登録更新 対象者28名、更新者24名 ・新規会員施設44施設への「災害救護対応マニュアル」、新規登録者57名への「災害支援ナース必携マニュアル」の追加発送 <p>③災害救護対応マニュアルの見直し</p> <p>④災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>ア 「平成28年熊本地震」における災害支援ナースの派遣 *日本看護協会をとおした派遣(レベル3)</p> <p>地震発生 余震 4月14日 21時26分 マグニチュード6.5 最大震度7 本震 4月16日 1時25分 マグニチュード7.3 最大震度7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成28年熊本地震」における災害対策本部を設置 (4/18) ・本部設置の時点から、日本看護協会と連絡をとりながら、派遣終結日まで派遣調整を実施 ・千葉県には、本部設置の報告、派遣時点から派遣終結日まで派遣場所・人数等の報告をした（健康福祉政策課・医療整備課・健康づくり支援課） ・派遣期間：4月29日（金・祝）～6月1日（水） ・派遣人数：24施設36名、延べ144名 ・派遣先：熊本県の阿蘇市、菊池郡大津町、阿蘇郡西原村の3市町村4避難所 ・活動内容：3泊4日、2名体制、被災者の健康管理・衛生指導・環境整備等 <p>イ 「平成28年熊本地震の災害支援ナース派遣に係る報告会（事後研修会）」</p> <p>日 時：平成28年7月13日（水） 13:30～17:00 場 所：千葉県看護会館 2階中研修室 内 容：災害派遣の概要、グループ討議 総 評：東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 准教授 石井 美恵子氏 参加者：25名 ウ 会員等への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・「看護しば」2016.10月号に掲載報告 ・災害支援研修会等で報告 <p>⑤災害時必要物品の管理</p> <p>血圧計、そのままご飯、寝袋等の購入</p> <p>(3) 災害支援ナースの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「災害支援ナースの基礎知識～災害看護の第一歩～」(再掲) ②「災害医療と看護（実践編）」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会（旧災害支援ナースフォローアップ研修） <p>日 時：2月21日（火） 9:30～16:30 場 所：千葉県看護会館 修了者：76名 内 容：「看護専門職として自律的に災害支援ナース活動を行うために」ほか 講師：東京医療保健大学 東が丘立川看護学部 准教授 石井美恵子氏 ほか</p> <p>④平成28年度法人会員対象研修「災害支援ナース育成 研修企画・指導者研修」</p> <p>日 時：平成28年12月15日～12月16日 場 所：日本看護協会神戸研修センター 受講者：県協会から推薦した2名</p> </p>

項目	実施計画 (新規事業 : 太ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	<p>1. 職能委員会 (職能)</p> <p>(1) 保健師職能委員会 年6回程度 (2) 助産師職能委員会 年6回程度 (3) 看護師職能委員会 (領域 I)年6回程度 (領域 II)年6回程度</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能)</p> <p>(1) 職能別集会 ①保健師職能集会 ②助産師職能集会 ③看護師職能集会(領域 I) ④看護師職能集会(領域 II)</p> <p>(2) 各職能別交流会 ①保健師職能交流会 ②助産師職能交流会 (管理者、中堅) ③看護師職能交流会(領域 I) ④看護師職能交流会(領域 II) ⑤准看護師交流会</p> <p>3. 助産師出向支援導入事業 (千葉県委託事業)</p>	<p>(1) 保健師職能委員会 5回 (6/27、8/25、10/26、1/17、2/26) (2) 助産師職能委員会 6回 (7/19、8/2、10/21、11/4、1/30、3/28) (3) 看護師職能委員会 (領域 I)5回 (8/16、10/5、10/31、12/7、3/23) (領域 II)7回 (7/12、8/4、9/8、10/7、11/10、12/1、2/2)</p> <p>(1) 職能別集会 ①保健師職能集会(2/26)、参加者数 22名 講演「そうだ!事例検討会をやってみよう! “実践力UP事例検討会”」～みて・考え・理解して～ 講師 公益社団法人日本看護協会 佐藤 瞳子 氏 事例検討・講評 (3グループ、グループごとにテーマを設定し、事例検討) ②助産師職能集会(10/21) 参加者数 27名 テーマ 「ウイメンズヘルスケア能力の強化～周産期における感染症の最新情報と思春期健康教育の実際～」 報告 平成27年活動状況報告及び平成28年度活動計画について 講演1 「周産期における感染症の最新情報」 講師 帝京平成大学 教授 川名尚 氏 講演2 「思春期健康教育の実際」 講師 帝京平成大学 教授 大澤豊子 氏 グループディスカッション テーマ「本日のテーマに関する、今後の展望」 ③看護師職能集会(領域 I) 1回 (9/3) 参加者数169名 報告 平成27年活動状況報告及び平成28年度活動計画について 講演 「看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版) について」 講師 公益社団法人日本看護協会看護研修学校 教育研究部長 渋谷美香 氏 ④看護師職能集会(領域 II) (10/7) 参加者数22名 報告 平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画について 講演 「介護・福祉関係施設、在宅等におけるリスクマネジメント」 講師 あたご研究所所長 後藤佳苗 氏 グループワーク (2) 各職能別交流会 ①保健師職能交流会 (11/26) 参加者数32名 ・講演 「アンガーマネジメント」一人間関係でトラブルにならないためにー 講師 日本アンガーマネジメント協会 島田真由美 氏(ワイエム オフィス(株) 子育て団体Sunny代表) ・ワールドカフェ方式によるグループワーク ②助産師職能交流会(2回) 産科管理者交流会 (12/16) 参加者数28名 講演1 「助産に関連した倫理について」 講師 帝京科学大学 教授 斎藤益子 氏 講演2 「産科医療補償制度について」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 村上明美 氏 事例検討・グループディスカッション 中堅助産師交流会(1/30) 参加者数27名 シンポジウム・フロアセッション 「NICU/GCUから退院する児とその家族への退院支援」 妊娠期から育児期まで安全・安心で切れ目のないケアを目指して～ シンポジスト 亀田総合病院周産期センター長 吉田広美 氏 船橋中央病院NICU新生児集中ケア認定看護師 関 裕奈 氏 大多喜町健康福祉課保健予防係保健師 畑田絵梨 氏 グループディスカッション：テーマ「NICU/GCUとの連携の現状と課題」 ③看護師職能交流会(領域 I) (11/5) 参加者数92名 講演 「地域包括ケアシステムを活用した病院と地域における看護職連携の在り方を考える」 講師 東京大学医学部在宅医療学拠点特任研究员 ピュートゾルフ柏 (訪問看護ステーション) 代表 吉江 悟 氏 グループワーク テーマ「自施設における地域との連携の課題」 ④看護師職能交流会(領域 II) (12/1) 参加者数24名 講演 「看取りの現状と動向～在宅、福祉関係施設での看取りの必要性と看護師としての関わりとは～」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 高齢者・在宅看護学 教授 杉本知子 氏 グループワーク ⑤准看護師交流会 (1/14) 参加者数57名 講演「高齢者のスキンケア」私たちのケアが患者さんの皮膚を守る～高齢者の皮膚の特徴とケアのポイント～ 質疑・応答 准看護師の進学支援について(学校説明) 千葉県立野田看護専門学校 校長 高井孝子 先生 東京衛生学園専門学校 看護学科二年課程 (通信制) 秋山千草 先生 放送大学学園 連携教育課 課長補佐 鈴木賢一 先生 進学体験談 社会医療法人社団正朋会 宮倉病院 千葉県看護協会 山口規予 氏 千葉県立佐原病院 (全日制) 中留三奈子氏 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院 (通信制) 川村春香 氏 (1) 助産師出向支援導入事業推進協議会の開催 (6/13、12/1、3/7) ・出向目的：研修目的出向 (正常分娩の介助経験等助産実践能力強化のため) ・出向元・出向先の決定 (千葉県済生会習志野病院・船橋中央病院) (2) 出向対象者：卒後2年目の助産師 (3) 出向期間：平成28.8.1～平成29.3.31 (8か月間) (4) 事業の成果：報告書を作成・県内の助産師在籍施設等へ発信 </p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑤ 看護制度への提言等に関する事業 看護業務の開発及び	<p>1. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p>(1) 平成28年度予算要望の結果</p> <p>(2) 県の翌年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>(3) 県議会等の活動への協力依頼等</p> <p>(4) 千葉県医療審議会等への参画</p> <p>2. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>(1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>(2)資格認定制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度の普及・推進 	<p>(1) 平成28年度予算要望の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県内看護学生への修学資金貸付枠の拡大 (60名増) ②臨床実習指導者講習会開催回数の増 (2か所) ③院内保育所の対象枠の拡大 (9施設増) ④訪問看護ステーションの見学体験への助成 <p>(2) 県の平成29年度予算等に関する要望書の提出 (8/9)</p> <p>要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保対策の推進 2 地域包括ケアシステムの構築 3 安全・安心な出産環境の確保 4 保健師の資質向上と体制整備 5 医療安全対策の推進 <p>(3) 県議会等の活動への協力依頼等 2回 (9/9、10/6)</p> <p>(4) 千葉県医療審議会等への参画</p> <p>千葉県・市町村等関係会議：78回、関係団体等会議：103回</p> <p>(1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>(2)資格認定制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度の普及・推進
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	<p>1. 訪問看護事業</p> <p>(1)質の高い訪問看護の提供</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実</p> <p>2. 居宅介護支援事業</p> <p>(1)質の高いケアプランの提供</p> <p>(2)地域のネットワークづくり</p> <p>(3)利用者の申請代行</p> <p>3. 訪問看護の普及</p> <p>(1)訪問看護研修生の受入れ</p> <p>(2)看護学生実習の受入れ</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備</p> <p>(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回</p> <p>(3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携</p> <p>(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 及び他職種との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 <p>(2)利用者確保のための広報活動</p> <p>6. 職員の資質の向上</p> <p>(1)事例検討会</p> <p>(2)研修会・学会等への参加</p> <p>(3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p> <p>7. その他</p>	<p>(1)質の高い訪問看護の提供</p> <p>利用者延べ 728名、月平均61名 (3月末現在常勤看護換算6.15人) 訪問看護延べ4,382回、月平均365回</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>在宅における看取り17名、月平均1.4名 人工呼吸器装着患者5名、小児3名</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実</p> <p>緊急訪問延べ 179回 (うち休日54回)、月平均15回 休日訪問 延べ144回(予定・緊急)</p> <p>(1)質の高いケアプランの提供</p> <p>ケアプラン作成 410名、月平均延べ34名、(3月末現在常勤看護換算1人)</p> <p>(2)地域のネットワークづくり</p> <p>居宅サービス事業者との連携の担当者会議 月平均5.7回</p> <p>(3)利用者の申請代行 24名 契約相談、3名(プラン作成も実施していない独居、経済的に問題があり、ボランティアで入っている)</p> <p>(1)訪問看護研修生の受入れ</p> <p>研修生の受け入れ 15名 (5施設) 延べ26日間</p> <p>(2)看護学生実習の受入れ 29名 (7校) 延べ73日間</p> <p>(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(2)ちば訪問看護ステーション定例会議 12回</p> <p>(3)ちば訪問看護ステーション運営会議 4回 (4/21、11/21、1/26、3/10)</p> <p>(1)医療機関、介護支援専門員等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 <p>訪問看護ステーション連絡協議会への参加 10回 居宅介護連絡協議会に参加 2回 地域の行事・交流会への参加 7回 指定地域の開業医、病院、ケアマネ等連絡会議 75回 (担当者会議、退院前カンファレンス等)</p> <p>(2)利用者確保のための広報活動</p> <p>(1)事例検討会 月1回</p> <p>(2)研修会学会等への参加6名 (延べ15日間) 学生指導者研修等</p> <p>(3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p> <p>(1)看護協会ちば・訪問看護ステーション運営検討委員会設置 (4回開催) 将来に向けて以下の2つの目標を掲げ、事業を推進していく方向性が報告された</p> <ul style="list-style-type: none"> ①訪問看護の将来を見据えた公益的・先駆的な取組みの推進 ②職員が働きやすく魅力のある職場づくりと経営の安定化

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
	<p>【公益目的事業会計】</p> <p>1.地区部会活動事業</p> <p>(1)具体的な地区部会活動</p> <p>①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催（再掲） ⑤「看護の日」「看護週間」事業（再掲） ⑥その他、地区特有の事業</p> <p>(2)看護職定着確保対策の推進</p> <p>①合同就職説明会の開催（再掲）</p>	<p>(1)具体的な地区部会活動</p> <p>①役員会 87回 ②連絡会 24回 ③研修会 32回（医療安全担当者地区交流会2回を含む） ④まちの保健室の開催（再掲） ⑤「看護の日」「看護週間」事業（再掲） ⑥その他、地区特有の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印旛地区：卒後公開研修参加者 21名 実施施設：佐倉厚生園病院、東邦大学医療センター佐倉病院、聖隸佐倉市民病院 ・市原地区：看護進路系ガイダンス 1校、 安房地区：看護師進路ガイダンス3校 <p>⑦地区部会会計に係る説明会（4/21）</p> <p>(2)看護職定着確保対策の推進</p> <p>①合同就職説明会の開催（再掲）</p>
	<p>1 情報提供、広報事業</p> <p>(1)千葉県看護協会の広報</p> <p>①機関誌「看護しば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用</p> <p>(2)広報委員会の開催 年5回</p>	<p>(1)千葉県看護協会の広報</p> <p>①機関誌「看護しば」の発行 4回（4月、7月、10月、1月）各27,000部、総会特集号の発行1回 ②ホームページの充実 アクセス件数：197,645件（うちスマートフォンからの検索 52,955件 全体の27%） ③協会パンフレット等の活用</p> <p>(2)広報委員会の開催 5回（7/25、9/9、10/17、12/5、1/16、2/20）</p>
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	<p>【収益事業等会計】</p> <p>1.施設の貸与等事業</p> <p>(1)本納建物賃貸</p> <p>2.販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <p>(1)看護関連図書販売の斡旋 (2)総会・医療安全大会等出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</p> <p>3.会員サービス・福祉の充実等</p> <p>(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>(1)本納建物賃貸</p> <p>(1)看護関連図書販売の斡旋 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</p> <p>(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 平成28年度千葉県看護協会長表彰対象者195名 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p> <p>協会行事等の開催案内の通知にクラブオフチラシ等を同封することにより周知 平成28年4月～平成29年3月クラブオフ利用件数3,719件：前年同月実績3,419件</p>
	<p>【法人会計】</p> <p>1.組織運営に関する会議等の開催</p> <p>(1)総会 年1回</p> <p>①日時：平成28年6月22日（水） ②場所：ホテルポートプラザしば</p> <p>(2)理事会 年6回程度</p> <p>(3)施設等会員代表者会 年2回</p> <p>(4)地区部長会 年2回</p> <p>(5)保助看職能委員会 年6回程度</p> <p>(6)推薦委員会 年6回程度</p> <p>(7)常任委員会（再掲） 年6回程度</p> <p>教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会</p>	<p>(1)総会 年1回</p> <p>①日時：平成28年6月22日（水） ②場所：ホテルポートプラザしば 参加者数341名（一般会員322名、役員19名）（委任状22,048件） 議題 平成27年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告について 平成28年度 役員及び推薦委員の選出について 公益社団法人千葉県看護協会入会及び退会規程の改正について 平成29年度 公益社団法人日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出について</p> <p>(2)理事会 6回（5/14、6/22、7/20、10/20、12/8、2/23） (3)施設等会員代表者会 2回</p> <p>(第1回) (7/20) ホテルポートプラザしば 参加者数173名 表彰等 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業 (看護サウルス賞表彰、看護ワーク・ライフ・バランス事業修了証交付) 看護体験記表彰・発表（再掲） 議題 公益社団法人千葉県看護協会 第4次看護職定着・確保推進計画について 平成28年度千葉県看護協会の事業計画について 講話 「夜勤専従勤務の労務管理の留意点」 講師 千葉労働局雇用環境・均等室 働き方・休み方改善コンサルタント 坂上和芳 氏 [PR事業について]（平成28年度労働と看護の質向上のためのデータベース事業） 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 川本利恵子 氏 座長 公益社団法人千葉県看護協会 副会長 石渡祥子 氏</p> <p>(第2回) (1/24) ホテルポートプラザしば 参加者数202名 議題 平成28年度事業の進捗状況について 平成28年度看護職定着確保動向調査結果（看護管理者） 職能委員会活動の進捗状況について 平成29年度重点項目・重点事業について 質疑応答等 講演 「看護師のクリニックラダー（日本看護協会版）について」 講師 公益社団法人日本看護協会 教育研究部继续教育課 松原由季 氏 座長 公益社団法人千葉県看護協会 常任理事 寺口惠子 氏</p> <p>2回 (7/26、2/9)（再掲）</p> <p>4回 (10/27、12/16、1/27、2/15)</p> <p>6回</p> <p>6回</p> <p>6回</p> <p>5回</p> <p>6回</p>

項目	実施計画（新規事業：太ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業はゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
	<p>(8) 千葉県看護連盟との連携 ①合同研修会 2回</p> <p>2. 会員増の促進 (1) 新会員手続きの移行に伴うシステム改修・広報 ①会員管理システムの改修 ②新会員手続きに関する広報 　　イ. 看護しばへの記事掲載 年4回 　　ロ. 会員手続きの担当者説明会の実施 (2) 新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進</p> <p>④再入会者への入会促進 (5) 会員増促進委員会の開催 年6回</p> <p>3. 公益社団法人に係る届出事務 (1) 平成28年度事業計画・収支予算等の提出 (2) 平成27年度定期報告（事業報告・決算報告等） (3) 役員等の変更登記及び届出</p> <p>4. 日本看護協会との連携 (1) 法人会員会・理事会 (2) 職能委員長会 (3) 日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>5. 行政等との連携 (1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2) 三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3) 関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 (1) 研修の実施 (2) 健康診断</p> <p>7. 協会資産の管理 (1) 看護会館等の管理 ①看護会館の管理 　　イ. 保全等 　　・設備の整備、点検、警備等 　　・消防用設備、空調、自動扉等の整備点検管理委託、会館警備委託、廃棄物処理委託看護会館受電設備の改修工事 　　・火災、防災訓練 　　ロ. 環境整備 　　・会館清掃業務委託、構内緑化管理委託、装飾用植木リース、駐車場管理、社内ネットワーク管理 ②公用車の管理 (2) 情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 　　イ. 情報セキュリティの確保 　　ロ. 個人情報関連業務の標準化 　　・講師、委員等情報一元管理システムの構築 　　・特定個人情報外部管理サービスの導入 ②情報資産の活用 　　イ. グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p>	<p>(8) 千葉県看護連盟との連携 　　合同研修会 1回 (6/17) 千葉中央看護専門学校 1階講堂 (参加者201名) 　　看護連盟DVD上映 　　講演①「地域包括ケアシステムの構築における看護職への期待」 　　講師 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 　　部長(兼) 教授 藤田伸輔 氏 　　講演②「地域包括ケア病棟における看護の実際と課題」 　　講師 医療法人社団保健会 谷津保健会 　　副看護部長 鶴崎美優希 氏</p> <p>(1) 新会員手続きの移行に伴うシステム改修・広報 ①会員管理システムの改修 ②新会員手続きに関する広報 　　イ. 看護しばへの記事掲載 看護しば 4月号、7月号に関連記事を掲載 　　ロ. 新会員手続き方法説明会の実施 (7/26、27、28、29の4日間 計7回) 参加者数: 208施設 219名 (2) 新規入会の促進 会員数26,143名(うち新規会員 2,728名、前年比548名増) (3/31現在) ①新人看護職の入会促進 (フレッシュセミナー等で入会の案内を実施) ②未加入施設への入会促進 　　イ. 訪問看護ステーション (245施設)への入会促進(9月) 　　ロ. 診療所 (3,057施設)への入会促進(10月) ③保健師・准看護師の入会促進 　　平成28年度保健師職能交流会(11/26) 参加者に入会案内チラシを配布 　　平成28年度看護師職能(領域Ⅱ) 集会(10/7)・交流会(12/1) 参加者に入会案内チラシを配布 　　平成28年度准看護師交流会(1/14) 参加者に入会案内を配布 　　千葉県内の自治体に働く保健師への入会に関する調査(保健師職能委員会) (8月) ④その他 千葉県看護学生研究発表会の会場に「看護協会コーナー」を設け、協会のPRを実施(11/18) (3) 繼続会員への勧奨 (4) 再入会者への入会促進 (5) 会員増促進委員会の開催 6回 (8/25、9/29、10/27、11/24、12/22、1/26)</p> <p>(1) 平成28年度事業計画・収支予算等の提出 (3/31) (2) 平成27年度定期報告 (事業報告・決算報告等) (6/30) (3) 役員等の変更登記及び届出 (役員変更登記申請 (8/22))</p> <p>(1) 法人会員会・理事会ほか 理事会 6回 (5/13、6/8、7/28・29、9/23、11/24・25、2/16・17) 　　法人会員会 5回 (5/13、7/29、9/23、11/25、2/17) 　　日本看護協会通常総会 (6/7、6/8) 代議員27名参加 　　全国職能別交流集会 (6/9) 代議員22名参加 (2) 職能委員長会 2回 (8/3、3/3) 各職能委員長 (4名) 参加 (3) 日本看護協会通常総会代議員選出 　　平成28年度代議員等事前研修会(5/24) 参加者33名(代議員23名、予備代議員10名) 　　平成28年度千葉県看護協会通常総会にて日本看護協会代議員・予備代議員を選出 　　(平成29年度代議員27名、予備代議員27名) (7/31報告)</p> <p>(1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2) 三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3) 関係団体の行事等への協賛・後援 (後援 54件)</p> <p>(1) 研修の実施 業務に関する外部研修の受講 3名6回 (総務課・会計、給与関係) (2) 健康診断 役職員対象 10月～1月実施</p> <p>(1) 看護会館等の管理 ①看護会館の管理 　　イ. 保全等 　　・設備の整備、点検、警備等 　　・消防用設備、空調、自動扉等の整備点検管理委託、会館警備委託、廃棄物処理委託 　　看護会館受電設備の改修工事・キューピクル更改工事実施 (9/18) 　　・火災、防災訓練(12/21)起震車による地震体験、水消火器体験、AED体験 　　ロ. 環境整備 　　・会館清掃業務委託、構内緑化管理委託、装飾用植木リース、駐車場管理(随時)、社内ネットワーク管理 ②公用車の管理(車検等整備の実施6月) (2) 情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 　　イ. 情報セキュリティの確保 　　ロ. 個人情報関連業務の標準化 　　・講師、委員等情報一元管理システムの構築 　　・特定個人情報外部管理サービスの導入 ②情報資産の活用 　　イ. グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p>
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業		

平成28年度決算報告

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

*「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されることとなった。

- ① 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- ② 「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③ 「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

(2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）
遊休財産額（使途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 平成28年度決算の概要

全体決算の規模は、収益で約3.7億円（予算執行率102.72%）、費用で約3.5億円（予算執行率97.16%）であり、主な点は以下のとおりである。

(1) 経常収益について（合計374,976千円）

- ① 受取入会金・年会費は190,062千円で、予算と比較して582千円の増額となっている。なお受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）
- ② 研修会参加料は62,232千円で、予算と比較して7,844千円の増額となっている。
- ③ 公益事業受託料は50,953千円で、予算と比較して312千円の減額となっている。
- ④ 訪問看護・居宅介護支援事業収益は53,588千円（利息等を除く）で、予算と比較して1,851千円の増額となっている。
- ⑤ 補助金・助成金は予算額と同額の9,386千円であった。

(2) 経常費用について（合計354,562千円）

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は306,809千円で、予算と比較して7,845千円の減額となっている。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は8,654千円で、予算と比較して239千円の減額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は39,099千円で、予算と比較して2,288千円の減額である。

(3) 平成28年度決算における財務3基準について

① 収支相償

イ. 協会全体経常収益3.7億円

=公益事業274,496千円+収益事業等5,266千円+法人会計95,214千円

ロ. 公益事業経常収益274,496千円-公益事業経常費用306,809千円

=公益事業経常増減額▲32,313千円

ハ. ▲32,313千円+各種調整額合計▲17,219千円=▲49,532千円

→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

*各種調整額合計・・・支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

② 公益目的事業比率

イ. 協会全体経常費用3.5億円

=公益事業306,809千円+収益事業等8,654千円+法人会計39,099千円

ロ. 公益事業経常費用306,809千円÷（経常費用合計354,562千円+記念事業積立額400千円）
 $=86.43\% \geq 50\%$

→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

③ 遊休財産保有制限

イ. 総資産866,331千円-総負債165,909千円-（控除対象財産497,474千円-対応負債760千円）
 $=203,708\text{千円}$

ロ. 平成28年度末遊休財産額203,708千円≤保有制限額306,809千円

→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

*控除対象財産・・・公益目的保有財産など目的の定められた財産で、遊休財産の範囲から除かれる財産をいう。

平成28年度 決算 総合計

(単位：千円)

経 常 収 益 計	374,976
経 常 費 用 計	354,562
当 期 経 常 増 減 額	20,414
経 常 外 収 益	2,052
当期一般正味財産増減額	22,466
正 味 財 産 期 首 残 高	677,955
正 味 財 産 期 末 残 高	700,421

平成28年度 決算 収益の部

(単位：千円)

会計区分	科 目	決算額	予算額	増減額	執行率
公益目的事業会計	特定資産受取利息	300	292	8	102.74%
	受取入会金	16,902	16,740	162	100.97%
	受取年会費	78,129	78,000	129	100.17%
	研修会参加料	62,232	54,388	7,844	114.42%
	事業受託料 収 益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	10,227	10,558	△ 331
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	31,550	31,550	0
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	5,000	5,000	0
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	895	984	△ 89
		助産師出向支援導入事業受託料（千葉県）	2,102	2,102	0
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	1,179	1,071	108
	小計		50,953	51,265	△ 312
	訪問看護・居宅介護支援事業収益 ※特定資産受取利息及び受取利息を除く	53,588	51,737	1,851	103.58%
	その他事業収益（受取手数料・雑収益）	1,813	1,773	40	102.26%
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,286	9,286	0
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0
		小計	9,386	9,386	0
	受取寄附金	1,300	1,300	0	100.00%
	事業外収益（受取利息・雑収益）	35	30	5	116.67%
	公益目的事業 計（内部取引消去前）	274,638	264,911	9,727	103.67%
	内部取引消去	△ 142	0	△ 142	—
	公益目的事業 計	274,496	264,911	9,585	103.62%
収益事業等会計	施設の貸与等事業	本納賃貸料等	481	482	△ 1
	販売手数料及び出版広告料に関する事業	医療安全大会協賛金等	801	805	△ 4
	会員福利厚生等に関する事業	日本看護協会受託料（会員管理業務・代議員業務）	3,881	3,881	0
		自販機管理手数料等	103	91	12
	収益事業等 計		5,266	5,259	7
法人会計	特定資産受取利息	53	59	△ 6	89.83%
	受取入会金	16,902	16,740	162	100.97%
	受取年会費	78,129	78,000	129	100.17%
	受取利息及び雑収益	130	69	61	188.41%
	法人会計 計	95,214	94,868	346	100.36%
経 常 収 益 計		374,976	365,038	9,938	102.72%

平成28年度 決算 費用の部

(単位 : 千円)

会計区分	定款事業			決算額	予算額	増減額	執行率		
公益目的事業会計	① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	85,618	82,843	2,775	103.35%		
			千葉県看護研究学会						
			図書室の管理運営						
			委員会の開催						
		資質向上(県)	千葉県委託研修	21,780	26,171	△ 4,391	83.22%		
		小計		107,398	109,014	△ 1,616	98.52%		
	② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	15,542	17,689	△ 2,147	87.86%		
			看護職の労働環境の向上						
			看護進路相談事業						
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	36,501	36,279	222	100.61%		
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,547	12,816	△ 269	97.90%		
		小計		64,590	66,784	△ 2,194	96.71%		
	③ 訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護師人材育成事業	10,430	10,830	△ 400	96.31%		
			訪問看護ステーションIT化等推進事業						
			訪問看護の普及啓発事業						
			関係機関との連携						
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	7,678	7,898	△ 220	97.21%		
		小計		18,108	18,728	△ 620	96.69%		
	④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	15,517	15,993	△ 476	97.02%		
			「まちの保健室」事業						
			自殺予防対策						
			千葉県小児救急電話相談事業						
			関係機関・他団体への協力						
		災害救護対策	災害支援対策事業		6,507	7,014	△ 507	92.77%	
			関係機関・他団体への協力						
		小計		22,024	23,007	△ 983	95.73%		
	⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会、職能集会・交流会	7,065	6,746	319	104.73%		
			助産師出向支援導入事業						
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,458	1,485	△ 27	98.18%		
			看護関連施策に対する提言						
			小計		8,523	8,231	292	103.55%	
	⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	51,953	53,332	△ 1,379	97.41%		
			居宅介護支援事業						
			訪問看護の普及						
			地域ニーズに応じた運営体制の整備						
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携						
			職員の資質の向上						
		小計		51,953	53,332	△ 1,379	97.41%		
	⑦ その他、この法人の目的を達成するため必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	13,439	14,534	△ 1,095	92.47%		
		広報	情報提供、広報事業	13,240	14,362	△ 1,122	92.19%		
		小計		26,679	28,896	△ 2,217	92.33%		
	公益目的事業共通		各公益目的事業に係る共通経費	7,676	6,662	1,014	115.22%		
	公益目的事業 計 (内部取引消去前)			306,951	314,654	△ 7,703	97.55%		
	内部取引消去			△ 142	0	△ 142	—		
	公益目的事業 計			306,809	314,654	△ 7,845	97.51%		
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		883	773	110	114.23%		
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		2,902	3,293	△ 391	88.13%		
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		4,869	4,827	42	100.87%		
	収益事業等 計			8,654	8,893	△ 239	97.31%		
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会、その他)			39,099	41,387	△ 2,288	94.47%		
	その他一般管理費								
	法人会計 計			39,099	41,387	△ 2,288	94.47%		
経常費用計				354,562	364,934	△ 10,372	97.16%		

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	297,601,896	322,727,847	△ 25,125,951
未収入金	20,183,667	16,514,156	3,669,511
前払金	122,100	153,540	△ 31,440
立替金	37,864	31,469	6,395
前払費用	1,056,336	1,399,809	△ 343,473
流動資産合計	319,001,863	340,826,821	△ 21,824,958
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	9,899,460	7,100,000	2,799,460
退職給付引当資産	39,956,620	34,558,040	5,398,580
看護会館取得資産	312,432,316	287,539,280	24,893,036
記念事業積立資産	1,600,000	1,200,000	400,000
特定資産合計	363,888,396	330,397,320	33,491,076
(3) その他固定資産			
建物	368,801,658	363,185,658	5,616,000
構築物	35,220,427	35,220,427	0
車両運搬具	10,581,163	10,581,163	0
什器備品	70,280,994	70,124,394	156,600
図書	30,804,638	30,639,061	165,577
リース資産	5,029,860	5,029,860	0
その他固定資産	30,277,770	23,495,370	6,782,400
減価償却累計額	△ 368,943,361	△ 353,471,774	△ 15,471,587
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	100,000	110,000	△ 10,000
リサイクル預託金	100,960	100,960	0
その他固定資産合計	183,440,599	186,201,609	△ 2,761,010
固定資産合計	547,328,995	516,598,929	30,730,066
資産合計	866,330,858	857,425,750	8,905,108
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,269,981	1,539,742	5,730,239
リース債務	759,834	1,765,806	△ 1,005,972
前受金	1,692,000	6,312,000	△ 4,620,000
前受会費	105,270,000	126,834,000	△ 21,564,000
預り金	1,061,480	1,197,561	△ 136,081
流動負債合計	116,053,295	137,649,109	△ 21,595,814
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	9,899,460	7,199,580	2,699,880
退職給付引当金	39,956,620	34,621,170	5,335,450
固定負債合計	49,856,080	41,820,750	8,035,330
負債合計	165,909,375	179,469,859	△ 13,560,484
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	700,421,483	677,955,891	22,465,592
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	(314,032,316)	(288,739,280)	(25,293,036)
負債及び正味財産合計	700,421,483	677,955,891	22,465,592
	866,330,858	857,425,750	8,905,108

貸借対照表内訳表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科目	会計区分	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金		87,127,216	443,597	210,031,083		297,601,896
未収入金		20,083,942	0	99,725		20,183,667
前払金		122,100	0	0		122,100
立替金		4,104	0	33,760		37,864
前払費用		170,460	0	885,876		1,056,336
他会計債権		0	5,977,366	198,844,722	△ 204,822,088	0
流動資産合計		107,507,822	6,420,963	409,895,166	△ 204,822,088	319,001,863
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
基本財産合計		0	0	0	△ 0	0
(2) 特定資産						
役員退職慰労引当資産		8,353,495	131,576	1,414,389		9,899,460
退職給付引当資産		33,755,697	287,022	5,913,901		39,956,620
看護会館取得資産		259,724,988	999,783	51,707,545		312,432,316
記念事業積立資産		0	0	1,600,000		1,600,000
特定資産合計		301,834,180	1,418,381	60,635,835	△ 0	363,888,396
(3) その他固定資産						
建物		184,147,478	8,570,824	176,083,356		368,801,658
構築物		17,444,870	2,570,123	15,205,434		35,220,427
車両運搬具		10,291,841	6,774	282,548		10,581,163
什器備品		59,930,626	246,184	10,104,184		70,280,994
図書		30,804,638	0	0		30,804,638
リース資産		4,213,517	19,111	797,232		5,029,860
その他固定資産		28,334,045	135,649	1,808,076		30,277,770
減価償却累計額		△ 224,573,225	△ 9,401,028	△ 134,969,108		△ 368,943,361
電話加入権		993,923	4,509	188,058		1,186,490
保証金		82,877	268	16,855		100,000
リサイクル預託金		88,780	0	12,180		100,960
その他固定資産合計		111,759,370	2,152,414	69,528,815	△ 0	183,440,599
固定資産合計		413,593,550	3,570,795	130,164,650	△ 0	547,328,995
資産合計		521,101,372	9,991,758	540,059,816	△ 204,822,088	866,330,858
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		70,809	0	7,199,172		7,269,981
リース債務		0	0	759,834		759,834
前受金		846,000	0	846,000		1,692,000
前受会費		52,635,000	0	52,635,000		105,270,000
預り金		150,880	0	910,600		1,061,480
他会計債務		204,822,088	0	0	△ 204,822,088	0
流動負債合計		258,524,777	0	62,350,606	△ 204,822,088	116,053,295
2. 固定負債						
役員退職慰労引当金		8,353,495	131,576	1,414,389		9,899,460
退職給付引当金		33,755,697	287,022	5,913,901		39,956,620
固定負債合計		42,109,192	418,598	7,328,290	△ 0	49,856,080
負債合計		300,633,969	418,598	69,678,896	△ 204,822,088	165,909,375
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計		0	0	0	△ 0	0
(うち基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)		(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産						
(うち基本財産への充当額)		220,467,403	9,573,160	470,380,920	△ 0	700,421,483
(うち特定資産への充当額)		(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計		(259,724,988)	(999,783)	(53,307,545)		(314,032,316)
負債及び正味財産合計		220,467,403	9,573,160	470,380,920	△ 0	700,421,483
		521,101,372	9,991,758	540,059,816	△ 204,822,088	866,330,858

正味財産増減計算書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[355,234]	[365,435]	[△ 10,201]
特定資産受取利息	355,234	365,435	△ 10,201
受取入会金	[33,804,000]	[32,616,000]	[1,188,000]
受取入会金	33,804,000	32,616,000	1,188,000
受取会費	[156,258,000]	[153,048,000]	[3,210,000]
正会員受取会費	156,258,000	153,048,000	3,210,000
事業収益	[173,706,156]	[194,707,654]	[△ 21,001,498]
教育研修会参加料	62,193,288	54,957,760	7,235,528
看護職員の資質向上研修事業受託料	10,226,705	28,283,250	△ 18,056,545
ナースセンター事業受託料	25,710,000	26,360,000	△ 650,000
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	5,840,000	0
訪問看護推進事業受託料	5,000,000	5,219,000	△ 219,000
小児救急電話相談事業受託料	895,060	1,085,098	△ 190,038
日本看護協会受託料	5,059,194	3,560,031	1,499,163
訪問看護療養費収益	42,604,467	49,820,897	△ 7,216,430
基本利用料収益	2,708,739	3,646,614	△ 937,875
その他の利用料収益	1,125,515	1,598,695	△ 473,180
治験収益	946,000	1,100,000	△ 154,000
居宅介護支援事業収益	5,475,884	8,485,175	△ 3,009,291
助産師出向支援導入事業受託料	2,102,000	0	2,102,000
受取手数料	2,563,944	2,470,905	93,039
雑収益	1,255,360	2,280,229	△ 1,024,869
受取補助金等	[9,385,630]	[9,340,690]	[44,940]
(公社)日本看護協会助成金	9,385,630	9,340,690	44,940
受取寄付金	[1,300,000]	[1,300,000]	[0]
受取寄付金	1,300,000	1,300,000	0
雑収益	[166,495]	[151,520]	[14,975]
受取利息	34,746	81,520	△ 46,774
雑収益	131,749	70,000	61,749
経常収益計	374,975,515	391,529,299	△ 16,553,784
(2) 経常費用			
事業費	[315,462,854]	[342,070,270]	[△ 26,607,416]
役員報酬	22,949,204	23,329,262	△ 380,058
給与手当	111,518,857	117,154,554	△ 5,635,697
賞与	16,842,517	21,952,446	△ 5,109,929
通勤手当	6,722,176	6,586,590	135,586
役員退職慰労引当金繰入	3,564,491	2,810,496	753,995
退職給付費用	4,949,789	7,237,658	△ 2,287,869
福利厚生費	23,268,437	25,586,155	△ 2,317,718
旅費交通費	3,304,093	5,305,757	△ 2,001,664
通信運搬費	7,827,575	8,723,754	△ 896,179
減価償却費	14,164,024	17,549,501	△ 3,385,477
消耗什器備品費	323,275	833,112	△ 509,837
消耗品費	6,379,836	7,421,526	△ 1,041,690
修繕費	860,863	1,006,839	△ 145,976
印刷製本費	16,974,401	14,685,033	2,289,368
燃料費	334,246	480,166	△ 145,920
光熱水料費	5,924,618	6,962,082	△ 1,037,464
賃借料	6,342,604	5,143,377	1,199,227
保険料	1,454,754	1,723,384	△ 268,630
諸謝金	22,146,800	29,381,489	△ 7,234,689
租税公課	7,076,047	6,836,809	239,238

正味財産増減計算書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
支払負担金	55,000	75,000	△ 20,000
支払手数料	465,923	0	465,923
看護材料購入費	219,277	224,931	△ 5,654
管理諸費	18,551,803	19,960,032	△ 1,408,229
図書費	1,508,138	1,320,680	187,458
雑費	11,734,106	9,779,637	1,954,469
管理費	[39,099,069]	[36,427,779]	[2,671,290]
役員報酬	633,119	642,738	△ 9,619
給料手当	11,906,314	9,784,592	2,121,722
賞与	2,112,901	1,522,146	590,755
通勤手当	547,136	548,671	△ 1,535
役員退職慰労引当金繰入	335,389	264,444	70,945
退職給付費用	385,661	460,522	△ 74,861
福利厚生費	1,707,113	2,322,574	△ 615,461
会議費	1,112,444	283,195	829,249
旅費交通費	251,167	444,064	△ 192,897
通信運搬費	3,919,145	3,006,886	912,259
減価償却費	1,307,563	1,413,296	△ 105,733
消耗什器備品費	11,525	0	11,525
消耗品費	232,651	208,053	24,598
修繕費	61,934	59,427	2,507
印刷製本費	3,587,013	3,600,356	△ 13,343
光熱水料費	663,595	719,386	△ 55,791
賃借料	2,229,040	2,141,212	87,828
保険料	148,728	146,865	1,863
諸謝金	365,590	232,546	133,044
租税公課	1,232,303	1,139,291	93,012
支払負担金	362,392	312,392	50,000
支払手数料	3,500,510	3,045,887	454,623
管理諸費	1,367,526	1,527,125	△ 159,599
交際費	602,565	575,595	26,970
図書費	279,512	199,593	79,919
雑費	236,233	1,826,923	△ 1,590,690
経常費用計	354,561,923	378,498,049	△ 23,936,126
評価損益等調整前当期経常増減額	20,413,592	13,031,250	7,382,342
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	20,413,592	13,031,250	7,382,342
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	2,052,000	0	2,052,000
経常外収益計	2,052,000	0	2,052,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,052,000	0	2,052,000
当期一般正味財産増減額	22,465,592	13,031,250	9,434,342
一般正味財産期首残高	677,955,891	664,924,641	13,031,250
一般正味財産期末残高	700,421,483	677,955,891	22,465,592
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	700,421,483	677,955,891	22,465,592

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
			施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業	計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益		[300,251]	[483]	[517]	[1,449]	[2,449]	[52,534]	△ 0	[355,234]
特定資産受取利息		300,251	483	517	1,449	2,449	52,534		355,234
受取入会金		[16,902,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,902,000]	△ 0	[33,804,000]
受取入会金		16,902,000	0	0	0	0	16,902,000		33,804,000
受取会費		[78,129,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[78,129,000]	△ 0	[156,258,000]
正会員受取会費		78,129,000	0	0	0	0	78,129,000		156,258,000
事業収益		[168,443,142]	[480,000]	[4,681,284]	[101,730]	[5,263,014]	[0]	△ 0	[173,706,156]
教育研修会参加料		62,193,288	0	0	0	0	0		62,193,288
看護職員の資質向上研修事業受託料		10,226,705	0	0	0	0	0		10,226,705
ナースセンター事業受託料		25,710,000	0	0	0	0	0		25,710,000
ナースセンター会館管理受託料		5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料		5,000,000	0	0	0	0	0		5,000,000
小児救急電話相談事業受託料		895,060	0	0	0	0	0		895,060
日本看護協会受託料		1,178,500	0	3,880,694	0	3,880,694	0		5,059,194
訪問看護療養費収益		42,604,467	0	0	0	0	0		42,604,467
基本利用料収益		2,708,739	0	0	0	0	0		2,708,739
その他の利用料収益		1,125,515	0	0	0	0	0		1,125,515
治験収益		946,000	0	0	0	0	0		946,000
居宅介護支援事業収益		5,475,884	0	0	0	0	0		5,475,884
助産師出向支援導入事業受託料		2,102,000	0	0	0	0	0		2,102,000
受取手数料		1,661,624	0	800,590	101,730	902,320	0		2,563,944
雑収益		775,360	480,000	0	0	480,000	0		1,255,360
受取補助金等		[9,385,630]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	△ 0	[9,385,630]
(公社)日本看護協会助成金		9,385,630	0	0	0	0	0		9,385,630
受取寄付金		[1,300,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	△ 0	[1,300,000]
受取寄付金		1,300,000	0	0	0	0	0		1,300,000
雑収益		[35,695]	[84]	[0]	[0]	[84]	[130,716]	△ 0	[166,495]
受取利息		2,160	84	0	0	84	32,502		34,746
雑収益		33,535	0	0	0	0	98,214		131,749
経常収益計		274,495,718	480,567	4,681,801	103,179	5,265,547	95,214,250	△ 0	374,975,515
(2) 経常費用									
事業費		[306,808,557]	[882,647]	[2,902,177]	[4,869,473]	[8,654,297]	[0]	△ 0	[315,462,854]
役員報酬		22,612,200	121,546	116,746	98,712	337,004	0		22,949,204
給与手当		108,980,718	66,793	2,026,059	445,287	2,538,139	0		111,518,857
賞与		16,368,366	12,477	378,490	83,184	474,151	0		16,842,517
通勤手当		6,620,402	32,139	32,139	37,496	101,774	0		6,722,176
役員退職慰労引当金繰入		3,490,394	23,399	23,399	27,299	74,097	0		3,564,491
退職給付費用		4,864,586	26,906	26,906	31,391	85,203	0		4,949,789
福利厚生費		22,905,539	114,599	114,599	133,700	362,898	0		23,268,437
旅費交通費		3,304,093	0	0	0	0	0		3,304,093
通信運搬費		7,684,722	648	11,933	130,272	142,853	0		7,827,575
減価償却費		13,795,623	288,618	30,295	49,488	368,401	0		14,164,024
消耗材備品費		320,296	993	993	993	2,979	0		323,275
消耗品費		6,293,077	18,923	18,923	48,913	86,759	0		6,379,836
修繕費		857,970	570	611	1,712	2,893	0		860,863
印刷製本費		16,917,161	0	0	57,240	57,240	0		16,974,401
燃料費		334,246	0	0	0	0	0		334,246
光热水料費		5,893,602	6,116	6,552	18,348	31,016	0		5,924,618
賃借料		6,208,960	127,507	1,614	4,523	133,644	0		6,342,604
保険料		1,447,804	1,370	1,468	4,112	6,950	0		1,454,754
諸謝金		22,146,800	0	0	0	0	0		22,146,800
租税公課		6,916,886	27,391	97,897	33,873	159,161	0		7,076,047
支払負担金		55,000	0	0	0	0	0		55,000

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
			施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業	計			
支払手数料		465,923	0	0	0	0	0	0	465,923
看護材料購入費		219,277	0	0	0	0	0	0	219,277
管理諸費		15,247,888	12,602	13,503	3,277,810	3,303,915	0	0	18,551,803
図書費		1,508,138	0	0	0	0	0	0	1,508,138
雑費		11,348,886	50	50	385,120	385,220	0	0	11,734,106
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[39,099,069]	[△ 0]	[39,099,069]
役員報酬						0	633,119		633,119
給料手当						0	11,906,314		11,906,314
賞与						0	2,112,901		2,112,901
通勤手当						0	547,136		547,136
役員退職慰労引当金繰入						0	335,389		335,389
退職給付費用						0	385,661		385,661
福利厚生費						0	1,707,113		1,707,113
会議費						0	1,112,444		1,112,444
旅費交通費						0	251,167		251,167
通信運搬費						0	3,919,145		3,919,145
減価償却費						0	1,307,563		1,307,563
消耗什器備品費						0	11,525		11,525
消耗品費						0	232,651		232,651
修繕費						0	61,934		61,934
印刷製本費						0	3,587,013		3,587,013
光热水料費						0	663,595		663,595
賃借料						0	2,229,040		2,229,040
保険料						0	148,728		148,728
諸謝金						0	365,590		365,590
租税公課						0	1,232,303		1,232,303
支払負担金						0	362,392		362,392
支払手数料						0	3,500,510		3,500,510
管理諸費						0	1,367,526		1,367,526
交際費						0	602,565		602,565
図書費						0	279,512		279,512
雑費						0	236,233		236,233
経常費用計		306,808,557	882,647	2,902,177	4,869,473	8,654,297	39,099,069	△ 0	354,561,923
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 32,312,839	△ 402,080	1,779,624	△ 4,766,294	△ 3,388,750	56,115,181	△ 0	20,413,592
基本財産評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額		△ 32,312,839	△ 402,080	1,779,624	△ 4,766,294	△ 3,388,750	56,115,181	△ 0	20,413,592
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
雑収益		1,026,000	0	0	0	0	1,026,000		2,052,000
経常外収益計		1,026,000	0	0	0	0	1,026,000	△ 0	2,052,000
(2) 経常外費用									
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常外増減額		1,026,000	0	0	0	0	1,026,000	△ 0	2,052,000
他会計振替額		1,000,000	0	△ 1,000,000	4,766,294	3,766,294	△ 4,766,294		0
当期一般正味財産増減額		△ 30,286,839	△ 402,080	779,624	0	377,544	52,374,887	△ 0	22,465,592
一般正味財産期首残高		250,754,242	6,618,655	2,576,961	0	9,195,616	418,006,033		677,955,891
一般正味財産期末残高		220,467,403	6,216,575	3,356,585	0	9,573,160	470,380,920	△ 0	700,421,483
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高		220,467,403	6,216,575	3,356,585	0	9,573,160	470,380,920	△ 0	700,421,483

正味財産増減計算書内訳表(公益目的事業会計)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	定款事業	公益目的事業会計								合計
		看護職の資質向上事業	看護職確保・定着事業	訪問看護推進事業	健康・福祉増進事業	調査研究提言事業	訪問看護・居宅事業	その他本会の目的を達成する為に必要な事業	公益目的共通事業	
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
特定資産運用益	[205,038]	[7,901]	[8,626]	[9,040]	[5,417]	[45,224]	[6,417]	[12,588]	[△ 0]	[300,251]
特定資産受取利息	205,038	7,901	8,626	9,040	5,417	45,224	6,417	12,588		300,251
受取入会金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,902,000]	[△ 0]	[16,902,000]
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	16,902,000		16,902,000
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[78,129,000]	[△ 0]	[78,129,000]
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	78,129,000		78,129,000
事業収益	[74,382,907]	[32,265,000]	[5,000,000]	[1,202,870]	[2,102,000]	[53,587,865]	[44,000]	[0]	[△ 141,500]	[168,443,142]
教育研修会参加料	62,231,788	0	0	0	0	0	0	0	△ 38,500	62,193,288
看護職員の資質向上研修事業受託料	10,226,705	0	0	0	0	0	0	0		10,226,705
ナースセンター事業受託料	0	25,710,000	0	0	0	0	0	0		25,710,000
ナースセンター会館管理受託料	0	5,840,000	0	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料	0	0	5,000,000	0	0	0	0	0		5,000,000
小児救急電話相談事業受託料	0	0	0	895,060	0	0	0	0		895,060
日本看護協会受託料	1,178,500	0	0	0	0	0	0	0		1,178,500
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	42,604,467	0	0		42,604,467
基本利用料収益	0	0	0	0	0	2,708,739	0	0		2,708,739
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,125,515	0	0		1,125,515
治験収益	0	0	0	0	0	946,000	0	0		946,000
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	5,475,884	0	0		5,475,884
助産師出向支援導入事業受託料	0	0	0	0	2,102,000	0	0	0		2,102,000
受取手数料	740,914	715,000	0	205,710	0	0	0	0		1,661,624
雑収益	5,000	0	0	102,100	0	727,260	44,000	0	△ 103,000	775,360
受取補助金等	[9,285,630]	[0]	[0]	[100,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,385,630]
(公社)日本看護協会助成金	9,285,630	0	0	100,000	0	0	0	0		9,385,630
受取寄付金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,300,000]	[△ 0]	[1,300,000]
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	1,300,000		1,300,000
雑収益	[199]	[0]	[0]	[0]	[0]	[473]	[24]	[34,999]	[△ 0]	[35,695]
受取利息	199	0	0	0	0	473	24	1,464		2,160
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	33,535		33,535
経常収益計	83,873,774	32,272,901	5,008,626	1,311,910	2,107,417	53,633,562	50,441	96,378,587	△ 141,500	274,495,718

正味財産増減計算書内訳表(公益目的事業会計)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	定款事業	公益目的事業会計								合計	
		看護職の資質向上事業	看護職確保・定着事業	訪問看護推進事業	健康・福祉増進事業	調査研究提言事業	訪問看護・居宅事業	その他本会の目的を達成する為に必要な事業	公益目的共通事業		
(2)経常費用											
事業費		[107,398,314]	[64,590,009]	[18,108,470]	[22,023,765]	[8,522,999]	[51,952,915]	[26,679,051]	[7,674,534]	[△ 141,500]	[306,808,557]
役員報酬		5,259,355	5,784,062	3,653,968	3,235,705	1,201,165	1,193,282	2,284,663	0		22,612,200
給与手当		25,630,767	25,931,992	5,528,898	8,147,949	3,444,935	32,626,257	7,669,920	0		108,980,718
賞与		4,269,314	4,270,479	1,237,069	1,860,915	435,795	3,217,530	1,077,264	0		16,368,366
通勤手当		1,640,036	1,850,925	416,583	657,002	458,526	949,707	454,785	192,838		6,620,402
役員退職慰労引当金繰入		1,364,966	1,033,467	288,590	374,387	97,496	74,097	257,391	0		3,490,394
退職給付費用		1,569,559	1,188,374	331,847	430,505	112,110	936,219	295,972	0		4,864,586
福利厚生費		5,577,227	5,309,808	1,451,601	1,890,902	572,999	6,136,001	1,317,901	687,600	△ 38,500	22,905,539
旅費交通費		135,700	313,829	99,866	101,670	91,790	242,946	2,318,292	0		3,304,093
通信運搬費		1,377,196	1,432,474	869,144	710,927	272,596	1,240,475	1,625,094	156,816		7,684,722
減価償却費		6,604,129	575,124	1,847,132	1,086,472	190,141	821,433	344,277	2,326,915		13,795,623
消耗什器備品費		54,448	156,944	11,326	14,903	3,973	0	10,730	67,972		320,296
消耗品費		2,551,048	972,397	241,859	419,659	76,016	225,600	512,145	1,294,353		6,293,077
修繕費		242,282	67,980	10,193	10,681	6,401	456,422	7,582	56,429		857,970
印刷製本費		6,060,513	3,600,147	446,352	639,264	770,442	162,142	5,238,301	0		16,917,161
燃料費		0	0	0	0	0	334,246	0	0		334,246
光熱水料費		2,658,742	2,235,389	109,215	114,457	68,586	580,524	81,256	45,433		5,893,602
賃借料		4,433,081	1,150,155	83,064	28,222	29,331	137,886	336,018	11,203		6,208,960
保険料		581,802	22,421	47,727	40,602	15,372	711,487	18,211	10,182		1,447,804
諸謝金		18,289,524	2,041,272	583,418	211,782	316,808	0	806,996	0	△ 103,000	22,146,800
租税公課		4,797,150	205,092	204,029	213,107	127,623	103,200	150,462	1,116,223		6,916,886
支払負担金		0	0	0	20,000	0	35,000	0	0		55,000
支払手数料		0	0	0	6,761	0	0	0	459,162		465,923
看護材料購入費		0	0	0	0	0	219,277	0	0		219,277
管理諸費		5,928,162	4,614,838	603,068	235,871	141,341	1,505,059	973,561	1,245,988		15,247,888
図書費		1,417,814	48,317	8,721	20,692	0	0	12,594	0		1,508,138
雑費		6,955,499	1,784,523	34,800	1,551,330	89,553	44,125	885,636	3,420		11,348,886
経常費用計		107,398,314	64,590,009	18,108,470	22,023,765	8,522,999	51,952,915	26,679,051	7,674,534	△ 141,500	306,808,557
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 23,524,540	△ 32,317,108	△ 13,099,844	△ 20,711,855	△ 6,415,582	1,680,647	△ 26,628,610	88,704,053	△ 0	△ 32,312,839
基本財産評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計		0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額		△ 23,524,540	△ 32,317,108	△ 13,099,844	△ 20,711,855	△ 6,415,582	1,680,647	△ 26,628,610	88,704,053	△ 0	△ 32,312,839
2. 経常外増減の部											
(1)経常外収益											
雑収益		0	0	0	0	0	0	0	1,026,000		1,026,000
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	1,026,000	0	1,026,000
(2)経常外費用											
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	1,026,000	△ 0	1,026,000
他会計振替額		0	0	0	0	0	0	0	1,000,000		1,000,000
当期一般正味財産増減額		△ 23,524,540	△ 32,317,108	△ 13,099,844	△ 20,711,855	△ 6,415,582	1,680,647	△ 26,628,610	90,730,053	△ 0	△ 30,286,839
一般正味財産期首残高		△ 66,837,161	△ 62,854,707	△ 12,373,116	△ 43,710,633	△ 20,224,078	△ 20,198,519	△ 94,985,079	571,937,535		250,754,242
一般正味財産期末残高		△ 90,361,701	△ 95,171,815	△ 25,472,960	△ 64,422,488	△ 26,639,660	△ 18,517,872	△ 121,613,689	662,667,588	△ 0	220,467,403
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高		△ 90,361,701	△ 95,171,815	△ 25,472,960	△ 64,422,488	△ 26,639,660	△ 18,517,872	△ 121,613,689	662,667,588	△ 0	220,467,403

正味財産増減計算書(予算対比)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[352,000]	[355,234]	[△ 3,234]	
特定資産受取利息	352,000	355,234	△ 3,234	
受取入会金	[33,480,000]	[33,804,000]	[△ 324,000]	
受取入会金	33,480,000	33,804,000	△ 324,000	
受取会費	[156,000,000]	[156,258,000]	[△ 258,000]	
正会員受取会費	156,000,000	156,258,000	△ 258,000	
事業収益	[164,420,000]	[173,706,156]	[△ 9,286,156]	
教育研修会参加料	54,388,000	62,193,288	△ 7,805,288	
看護職員の資質向上研修事業受託料	10,558,000	10,226,705	331,295	
ナースセンター事業受託料	25,710,000	25,710,000	0	
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	5,840,000	0	
訪問看護推進事業受託料	5,000,000	5,000,000	0	
小児救急電話相談事業受託料	984,000	895,060	88,940	
日本看護協会受託料	4,952,000	5,059,194	△ 107,194	
訪問看護療養費収益	34,406,000	42,604,467	△ 8,198,467	
基本利用料収益	9,330,000	2,708,739	6,621,261	
その他の利用料収益	1,080,000	1,125,515	△ 45,515	
治験収益	1,111,000	946,000	165,000	
居宅介護支援事業収益	5,242,000	5,475,884	△ 233,884	
助産師出向支援導入事業受託料	2,102,000	2,102,000	0	
受取手数料	2,567,000	2,563,944	3,056	
雑収益	1,150,000	1,255,360	△ 105,360	
受取補助金等	[9,386,000]	[9,385,630]	[370]	
(公社)日本看護協会助成金	9,386,000	9,385,630	370	
受取寄付金	[1,300,000]	[1,300,000]	[0]	
受取寄付金	1,300,000	1,300,000	0	
雑収益	[100,000]	[166,495]	[△ 66,495]	
受取利息	90,000	34,746	55,254	
雑収益	10,000	131,749	△ 121,749	
経常収益計	365,038,000	374,975,515	△ 9,937,515	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	[323,547,000]	[315,462,854]	[8,084,146]	
給与手当	22,694,000	22,949,204	△ 255,204	
賞与	113,654,000	111,518,857	2,135,143	
通勤手当	16,894,000	16,842,517	51,483	
役員退職慰労引当金繰入	6,989,000	6,722,176	266,824	
退職給付費用	3,562,000	3,564,491	△ 2,491	
福利厚生費	4,950,000	4,949,789	211	
旅費交通費	23,635,000	23,268,437	366,563	
通信運搬費	3,754,000	3,304,093	449,907	
減価償却費	9,062,000	7,827,575	1,234,425	
消耗什器備品費	15,724,000	14,164,024	1,559,976	
消耗品費	581,000	323,275	257,725	
修繕費	7,355,000	6,379,836	975,164	
印刷製本費	1,069,000	860,863	208,137	
燃料費	16,734,000	16,974,401	△ 240,401	
光熱水料費	304,000	334,246	△ 30,246	
賃借料	6,378,000	5,924,618	453,382	
保険料	6,907,000	6,342,604	564,396	
諸謝金	1,381,000	1,454,754	△ 73,754	
租税公課	22,193,000	22,146,800	46,200	
	7,096,000	7,076,047	19,953	

正味財産増減計算書(予算対比)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
支払負担金	55,000	55,000	0	
支払手数料	459,000	465,923	△ 6,923	
看護材料購入費	213,000	219,277	△ 6,277	
管理諸費	19,100,000	18,551,803	548,197	
図書費	1,188,000	1,508,138	△ 320,138	
雑費	11,616,000	11,734,106	△ 118,106	
管理費	[41,387,000]	[39,099,069]	[2,287,931]	
役員報酬	627,000	633,119	△ 6,119	
給料手当	12,114,000	11,906,314	207,686	
賞与	2,113,000	2,112,901	99	
通勤手当	773,000	547,136	225,864	
役員退職慰労引当金繰入	335,000	335,389	△ 389	
退職給付費用	386,000	385,661	339	
福利厚生費	2,440,000	1,707,113	732,887	
会議費	1,398,000	1,112,444	285,556	
旅費交通費	191,000	251,167	△ 60,167	
通信運搬費	4,098,000	3,919,145	178,855	
減価償却費	1,469,000	1,307,563	161,437	
消耗什器備品費	29,000	11,525	17,475	
消耗品費	238,000	232,651	5,349	
修繕費	128,000	61,934	66,066	
印刷製本費	3,871,000	3,587,013	283,987	
光熱水料費	723,000	663,595	59,405	
賃借料	2,274,000	2,229,040	44,960	
保険料	149,000	148,728	272	
諸謝金	322,000	365,590	△ 43,590	
租税公課	1,233,000	1,232,303	697	
支払負担金	392,000	362,392	29,608	
支払手数料	3,505,000	3,500,510	4,490	
管理諸費	1,588,000	1,367,526	220,474	
交際費	505,000	602,565	△ 97,565	
図書費	297,000	279,512	17,488	
雑費	189,000	236,233	△ 47,233	
経常費用計	364,934,000	354,561,923	10,372,077	
評価損益等調整前当期経常増減額	104,000	20,413,592	△ 20,309,592	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	104,000	20,413,592	△ 20,309,592	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
雑収益	0	2,052,000	△ 2,052,000	
経常外収益計	0	2,052,000	△ 2,052,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	2,052,000	△ 2,052,000	
当期一般正味財産増減額	104,000	22,465,592	△ 22,361,592	
一般正味財産期首残高	677,955,891	677,955,891	0	
一般正味財産期末残高	678,059,891	700,421,483	△ 22,361,592	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	678,059,891	700,421,483	△ 22,361,592	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

2) 固定資産の減価償却費の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

①建物

平成10年3月31日以前取得のものについては定率法により、

平成10年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。(附属設備を除く)

②構築物、車両運搬具、什器備品、その他固定資産

定率法によっている。

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

①その他固定資産

定額法によっている。

(3) リース資産

①所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

3) 引当金の計上基準

(1) 役員退職慰労引当金

役員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	7,100,000	3,999,460	1,200,000	9,899,460
退職給付引当資産	34,558,040	5,398,580	0	39,956,620
看護会館取得資産	287,539,280	24,893,036	0	312,432,316
記念事業積立資産	1,200,000	400,000	0	1,600,000
合計	330,397,320	34,691,076	1,200,000	363,888,396

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	9,899,460	0	0	9,899,460
退職給付引当資産	39,956,620	0	0	39,956,620
看護会館取得資産	312,432,316	0	312,432,316	0
記念事業積立資産	1,600,000	0	1,600,000	0
合計	363,888,396	0	314,032,316	49,856,080

財務諸表に対する注記

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	368,801,658	△ 240,051,496	128,750,162
構築物	35,220,427	△ 31,799,911	3,420,516
車両運搬具	10,581,163	△ 10,340,914	240,249
什器備品	70,280,994	△ 67,153,513	3,127,481
図書	30,804,638	△ 0	30,804,638
リース資産	5,029,860	△ 4,225,433	804,427
その他固定資産	30,277,770	△ 15,372,094	14,905,676
合計	550,996,510	△ 368,943,361	182,053,149

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額は次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	額面価額	差額
債券(看護会館取得資産) 千葉県債24年度004回	49,999,000	50,000,000	1,000
債券(看護会館取得資産) 千葉県債24年度004回	49,999,000	50,000,000	1,000
債券(看護会館取得資産) 千葉県債24年度004回	49,999,000	50,000,000	1,000
合計	149,997,000	150,000,000	3,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	9,285,630	9,285,630	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
委託費						
千葉県喀痰吸引等指導者養成講習業務	千葉県	0	1,024,603	1,024,603	0	
新人看護職員定着促進事業	千葉県	0	5,000,000	5,000,000	0	
実習指導者講習会事業	千葉県	0	4,202,102	4,202,102	0	
千葉県ナースセンター事業管理運営	千葉県	0	31,550,000	31,550,000	0	
千葉県訪問看護推進事業	千葉県	0	5,000,000	5,000,000	0	
千葉県小児救急電話相談事業	千葉県医師会	0	895,060	895,060	0	
会員登録事務業務	日本看護協会	0	3,716,170	3,716,170	0	
リアルタイム配信研修事務委託費	日本看護協会	0	371,800	371,800	0	
代議員選出に関する業務	日本看護協会	0	164,524	164,524	0	
研修事務委託料	日本看護協会	0	806,700	806,700	0	
助産師出向支援導入事業	千葉県	0	2,102,000	2,102,000	0	
合計		0	64,218,589	64,218,589	0	

財務諸表に対する注記

7. 関連当事者との取引の内容
該当なし

8. 重要な後発事象
該当なし

9. その他

1)リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1)リース資産の内容

その他固定資産

主として研修機材及び事務機器等の什器備品である。

(2)リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「2)固定資産の減価償却費の方法」に記載のとおりである。

2)資産除去債務に関する注記

当法人は、自己所有である建物等に係る債務を有しているが、当該債務に関連する資産の引払い等の時期が明確でなく蓋然性が極めて低いため、当事業年度においては資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	7,199,580	3,899,880	1,200,000	0	9,899,460
退職給付引当金	34,621,170	5,335,450	0	0	39,956,620

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	332,349
普通預金	千葉銀行 本店営業部 千葉銀行 本店営業部 千葉銀行 本店営業部 千葉銀行 本店営業部 千葉興業銀行 本店 京葉銀行 本店 千葉銀行 本店営業部	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	50,319,550 113,292,145 443,597 36,475,317 31,237 30,807 1,676,894
定期預金	千葉銀行 本店営業部 千葉興業銀行 本店 京葉銀行 本店		35,000,000 30,000,000 30,000,000
未収入金		訪問看護・居宅事業(公益目的事業)にかかるもの 研修参加料その他未収入金	12,854,780 7,328,887
前払金		翌年度以降相当分地区部会費用他	122,100
立替金		日看協代議員自己負担金立替他	37,864
前払費用		翌年度以降相当分保険料他	1,056,336
流動資産合計			319,001,863
(固定資産)			
特定資産			
役員退職慰労引当資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	9,899,460
退職給付引当資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金 千葉銀行 本店営業部 定期預金 千葉銀行 本店営業部 定期預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	13,168,650 18,700,000 8,087,970
看護会館取得資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金 千葉銀行 本店営業部 定期預金 千葉銀行 本店営業部 千葉県債(5年)	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの 看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの 看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	122,435,316 40,000,000 149,997,000
記念事業積立資産	千葉銀行 本店営業部 定期預金	40周年記念事業資金として	1,600,000

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産				
	建物	会館(別館含む)および本納建物	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額 収益事業等の用に供している 減価償却累計額 管理運営の用に供している 減価償却累計額	184,147,478 △ 122,628,528 61,518,950 8,570,824 △ 6,546,372 2,024,452 176,083,356 △ 110,876,596 65,206,760 17,444,870 △ 16,153,061 1,291,809 2,570,123 △ 2,475,418 94,705 15,205,434 △ 13,171,432 2,034,002 10,291,841 △ 10,051,597 240,244 6,774 △ 6,771 3 282,548 △ 282,546 2 59,930,626 △ 57,522,272 2,408,354 246,184 △ 230,596 15,588 10,104,184 △ 9,400,645 703,539 30,804,638
	構築物	看板工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額 収益事業等の用に供している 減価償却累計額 管理運営の用に供している 減価償却累計額	
	車両運搬具	訪問看護用車両10台 及び多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額 収益事業等の用に供している 減価償却累計額 管理運営の用に供している 減価償却累計額	
	什器備品	看護会館内の 什器備品一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額 収益事業等の用に供している 減価償却累計額 管理運営の用に供している 減価償却累計額	
	図書	書物一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
リース資産	研修用機材 及び事務機器等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	4,213,517 △ 3,719,325 494,192
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	19,111 △ 13,580 5,531
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	797,232 △ 492,528 304,704
その他固定資産	ソフトウェア・システム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	28,334,045 △ 14,498,442 13,835,603
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	135,649 △ 54,901 80,748
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	1,808,076 △ 818,751 989,325
電話加入権	本館および別館 電話加入権	相談事業用電話 245-0008 他	1,186,490
保証金	警備保障契約保証金		100,000
リサイクル預託金	訪問看護用車両10台 多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 管理運営の用に供している	88,780 12,180
固定資産合計			547,328,995
資産合計			866,330,858
(流動負債)			
未払金	講師・委員等一元管理システム他	公益目的事業および管理運営の支出に 供する経費の未払金	7,269,981
リース債務	コンピュータ等のリース料	公益目的事業のために支出するもの 及び共通資産	759,834
前受金	平成29年度入会金	公益目的事業および管理運営の支出に 供する入会金の前受分	1,692,000
前受会費	平成29年度年会費	公益目的事業および管理運営の支出に 供する会費の前受分	105,270,000
預り金	平成29年3月分源泉所得税 他		1,061,480
流動負債合計			116,053,295
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	9,899,460
退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	39,956,620
固定負債合計			49,856,080
負債合計			165,909,375
正味財産			700,421,483